

1947**Top Secret Documents on the China Situation****Citation:**

"Top Secret Documents on the China Situation", 1947, Wilson Center Digital Archive, National Archives and Records Administration, Record Group 242, National Archives Collection of Foreign Records Seized, 1941-, Records Seized by U.S. Military Forces in Korea, Shipping Advice 2006, Item 11/36. Obtained by Charles Kraus.
<https://digitalarchive.umd.edu/document/116526>

Summary:

North Korean intelligence on events in the Chinese Civil War.

Original Language:

Korean

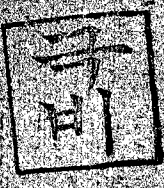
Contents:

Original Scan

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

호 4

비고



五十四年度

공공관계

10.8

의무성



No. 13 2

대수 113 대

19 49년 7월 22일

1947. 6.22	朝鮮駐中國代表團報告彙編	1 — 15
6.15	朝鮮駐中國代表團報告彙編	16 — 20
6.17	朝鮮駐中國代表團報告彙編	21 — 31
6.18	朝鮮駐中國代表團報告彙編	32 — 46
6.27	朝鮮駐中國代表團報告彙編	47 — 55
6.25	朝鮮駐中國代表團報告彙編	56 — 72
6.30	朝鮮駐中國代表團報告彙編	73 — 82
7.4	朝鮮駐中國代表團報告彙編	83 — 99
8.7	東北雜誌	100 — 103
8.1	國社黨外傳	104 — 115

北朝鮮人民委員會外務局

1947. 6.22	新刊的中央軍國軍管料集	1 — 15
" 5.15	新刊的中央軍國軍管料集	16 — 20
" 6.17	新刊的中央軍國軍管料集	21 — 31
" 6.18	新刊的中央軍國軍管料集	32 — 46
" 6.27	新刊的中央軍國軍管料集	47 — 55
" 6.25	新刊的中央軍國軍管料集	56 — 72
" 6.30	新刊的中央軍國軍管料集	73 — 82
" 7.4	新刊的中央軍國軍管料集	83 — 99
" 8.9	新刊的中央軍國軍管料集	100 — 103
" 8.1	新刊的中央軍國軍管料集	104 — 115

密

局長

一九四七年六月二十二日

中國人民解放戰爭資料集

北朝鮮人民委員會外務部

東亞部 崔

北朝鮮人民委員會外務局

全國編軍(中央軍)戰鬥序列表 一九四二、一九四三編製
 陸軍總司令部 總司令 顧祝同 副總司令 湯恩伯、沈漢傑
 東北行營 熊式輝

東北保安司令部 長官部 (杜聿明) 九四軍
 新六軍
 十三軍
 五三軍
 五〇軍
 七一軍
 九三軍

主管駐世洋後

北平行營 李宗仁

第十一戰區(孫運璿)

四集田軍(李興中)

三軍 龍濟光 (平漢北段)
 二軍 魯道源 (平漢北段)
 四軍 李振清 (石向)

北朝鮮人民委員會外務局

三集田軍 李 文

第十二戰區 傅作義

晉綏邊區 (邢奎珊)

東北陸軍軍 馬占山

武漢行營(程潛)

第九戰區 周 岳

第七戰區 王陵基

十集田軍 歐 震

三集田軍 李 玉堂

武漢警備總部 鄧錕 副總司令 陳長八 軍 (胡璉) (蘇魯豫邊)

廣州行營 張 發奎

四軍 陳 廉 (豫豫邊)
 五軍 周夢養 (豫豫邊)
 六軍 潘 弘 (豫東)
 七軍 柳 明 (鄂北)
 八軍 宋 瑞 (鄂北)
 九軍 馬占山 (晉北)
 十軍 魯英 (晉北)

徐廿級署 薛 岳

第一級靖邊區馮恩伯已調任豫軍司令部

十九集團軍 張雪平

三軍 (劉雨邦) (豫北)
五軍 (王統文) (豫中)
九軍 (王欽漢) (豫北)
四軍 (李天爵) ()

第三級靖邊區 王輝武

二十集團軍 夏楚中

第三級靖邊區 (馬治宇)

第八級靖邊區 (夏成)

三三集團軍 (李熙菴)

八軍 (李熙菴) (豫中)
七軍 (李熙菴) (豫中)
六軍 (李熙菴) (豫中)
五軍 (李熙菴) (豫中)
四軍 (李熙菴) (豫中)
三軍 (李熙菴) (豫中)
二軍 (李熙菴) (豫中)
一軍 (李熙菴) (豫中)

鄭廿級署 劉峙

北朝鮮人民委員會外務局

第一級區 胡宗南

三三集團軍 (王仲廉)

三軍 (王仲廉) (晉南)
二軍 (王仲廉) (豫北)
一軍 (王仲廉) ()

三三集團軍 (劉戡)

三三集團軍 (董重鈞)

第四級靖邊區 (劉汝明)

九軍 (鍾彬) (豫北)
七軍 (鍾彬) (豫北)
六軍 (鍾彬) (豫北)
五軍 (鍾彬) (豫北)
四軍 (鍾彬) (豫北)
三軍 (鍾彬) (豫北)
二軍 (鍾彬) (豫北)
一軍 (鍾彬) (豫北)

第五級靖邊區 (孫震)

十一軍 (孫震) (蘇豫邊)
十軍 (孫震) ()
九軍 (孫震) ()
八軍 (孫震) ()
七軍 (孫震) ()
六軍 (孫震) ()
五軍 (孫震) ()
四軍 (孫震) ()
三軍 (孫震) ()
二軍 (孫震) ()
一軍 (孫震) ()

膠廿級署 余漢謀

川級署 邓錫侯

黔級署 潘文華

三軍 (余漢謀) (粵)
二軍 (余漢謀) (粵)
一軍 (余漢謀) (粵)

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

第一战区(金錫山)

六集团军 王靖国

六军 王靖国 同前南段

七集团军 趙承燾

三三〇 趙承燾 同前南段

八集团军 孫楚

三四三 孫楚 同前北段

第八战区 陶峙岳

三集团军 (趙壽山)

一七〇 高桂白 武國清

十七集团军 (馬鳴遠)

九一〇 王晉 孫承燾

二十九集团军 (李鉄軍)

八二〇 馬鳴遠 孫承燾

承德警備總部 (錢大鈞)

八〇〇 馬呈祥 呼南壁

重慶警備總部 (孫元良)

三〇〇 孫元良 呼南壁

台灣警備總部 (陳儀)

二〇〇 陳儀 呼南壁

成都行轅 (張師)

本軍分心撤派

西昌行轅 (張師)

北朝鮮人民委員會外務局

附記

國民政府中央軍之陸軍之... 進行之結果一九四五年七月... 初等軍事學... 表內之兵行進... 一九四五年八月以後之變動...

主任 熊式輝

中國東北將介石中長軍正副總指揮系統表 一百五十九日調表

司令官 杜聿明 副司令官 鄭洞國 梁華盛

29A 總司令 孫葆 60A 副總司令 鄭洞國 陳南又

副司令 白崇禧

副司令 鄭澤滙

副司令 鄭澤滙

副司令 鄭義濟

副司令 鄭振韻

副司令 史松泉

副司令 方宅仁

北朝鮮人民委員會外務局

52A

195D 5D 2D 新 世 章

195D 5D 2D 陳 林 達

116D 130D 新 理 雲

915D 新 欽 琳

114D 新 天 武

新 20D 李 濤

207D 羅 又 倫

新 30D 唐 宇 玠

新 30D 李 鴻

50D 潘 裕 崑

葉 敬 趙 振 宇

特務 北 軍 統 帥 部

新 51A

新 6A

71A 53A

17A 石 覺

93A 盧 濤 泉

REPRODUCTION OF THE WILSON CENTER

東北敵軍戰序列表

北平人民日報 1948年11月20日 劉毅

東北行營

東北保安司令部長官部

第一級清區

第一集團軍總司令部

七二軍 八七師 (口軍之口口本級清區之指導之口口口口口口)

九三軍 警備十八師

警備二十師

獨立第一師 (新兵訓練隊)

交通警備隊第一三總隊 (來往不明)

交通警備隊第二四總隊 (口口)

北平師 (原保安司令部)

東北保安司令部

北平路警備司令部保安隊指揮部

北平路警備司令部

北朝鮮人民委員會外務局

東北保安司令部第五總隊

第二級清區

十三軍 第五師

五三軍 一三〇師

東北保安司令部第三總隊

東北保安司令部第四總隊

東北保安司令部第五總隊

熱河第一支隊

吳安警備隊獨立騎兵團

吳安警備隊騎兵第一團

吳安警備隊騎兵第二團

熱河邊防指揮部

第三級清區

五三軍 二五師

六三軍 八四師

東北保安司令部

東北保安司令部

東北保安司令部
 東北保安司令部
 東北警備司令部

冀東縱隊

四五師
 四三師

東北保安司令部
 第一路四縱隊

北滿路警備司令部
 山海關警備司令部

北滿路警備司令部
 山海關警備司令部

總指揮部

新三師
 新三八師

東北縱隊
 新三師

特務團
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)
 獨立二師(師部)

北朝鮮人民委員會外務局

獨立二師(師部)
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)
 獨立二師(師部)

直轄部隊

人軍兵總隊
 (師部)

第一大隊
 第二大隊
 第三大隊
 第四大隊
 第五大隊
 (右圖)

獨立二師(師部)
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)
 獨立二師(師部)



中國人民軍中央軍最高軍事會議系統表 1947.5.30公佈



中國人民軍中央軍最高軍事會議系統表

總務部
政治部
司令部
參謀部
醫務部
後勤部

團司令部
師司令部
旅司令部

陸軍部
海軍部
司令部
參謀部
政治部
總務部
醫務部
後勤部

步兵
騎兵
砲兵
工兵
水兵
艦隊

參謀
政治
參謀
政治
參謀
政治
參謀
政治
參謀
政治
參謀
政治

PHOTOUSED AT THE NATIONAL ARCHIVES

副司令		司令		第一師		第二師		第三師		第四師		第五師		第六師		第七師		第八師		第九師		第十師		司令部		司令部		司令部		司令部		司令部		司令部	
張越	張越	羅又倫	蔡振鐸	李振才	趙振才	鄭振才	王振才	段振才	孫振才	魯振才	何振才	平振才	莫振才	趙振才	劉振才	陳振才	李振才	張振才	王振才	羅振才	趙振才	魏振才	韓振才	趙振才	魏振才	韓振才	趙振才	魏振才	韓振才	趙振才	魏振才	韓振才			
張越	張越	羅又倫	蔡振鐸	李振才	趙振才	鄭振才	王振才	段振才	孫振才	魯振才	何振才	平振才	莫振才	趙振才	劉振才	陳振才	李振才	張振才	王振才	羅振才	趙振才	魏振才	韓振才	趙振才	魏振才	韓振才	趙振才	魏振才	韓振才	趙振才	魏振才				
張越	張越	羅又倫	蔡振鐸	李振才	趙振才	鄭振才	王振才	段振才	孫振才	魯振才	何振才	平振才	莫振才	趙振才	劉振才	陳振才	李振才	張振才	王振才	羅振才	趙振才	魏振才	韓振才	趙振才	魏振才	韓振才	趙振才	魏振才	韓振才	趙振才	魏振才				

北朝鮮人民委員會外務局

中國人民代表 中央軍東北辦事處代表 高麗人民代表

原部隊 番 號

新改番號

副司令 兼 明新 司令部

司令 趙 德 濤

司令 趙 守 中

司令 趙 守 中

司令 趙 守 中

司令 趙 守 中

司令 趙 守 中

司令 趙 守 中

司令 趙 守 中

司令 趙 守 中

司令 趙 守 中

司令 趙 守 中

司令 趙 守 中

司令 趙 守 中

總司令

中央軍陸軍總司令部編制表

一九五〇年九月廿日

副總司令

參謀長

副參謀長

辦公室主任

第一署

初一處 (正副參謀長)

(夜報) 第二署

初二處

(收機) 第三署

初三處

(編制) 第四署

初四處

第五署

初五處

(研究發展) 第六署

初六處

北朝鮮人民委員會外務局

會外

總務處

秘書處

經理處

軍法處

軍醫處

工廠處

通訊處

新聞處

外事處

在設軍事訓練長

番	號	主官	架有數	消耗數	現存數
第一軍	軍部	孫平人			
	新八師	李鴻			
	新十師	潘德昆	28,000	5,000	23,000
	新三師	廖輝相			
第二軍	軍部	李鴻			
	新十師	李鴻	32,000	7,000	25,000
	新十師	李鴻			
	新十師	李鴻			
第三軍	軍部	李鴻			
	八七師	李鴻			
	八八師	李鴻			
	八九師	李鴻	30,000	6,500	23,500
第四軍	軍部	李鴻			
	二二師	李鴻			
	二五師	李鴻			
	一九五師	李鴻			
第五軍	軍部	李鴻			
	八一師	李鴻			
	八一師	李鴻	30,000	8,000	22,000
	八一師	李鴻			
第六軍	軍部	李鴻			
	八一師	李鴻			
	八一師	李鴻			
	八一師	李鴻	28,000	5,000	23,000
第七軍	軍部	李鴻			
	四四師	李鴻			
	五四師	李鴻			
	八四師	李鴻			
第八軍	軍部	李鴻			
	一一師	李鴻			
	一一師	李鴻			
	一一師	李鴻			

北朝鮮人民委員會外務局

付物

(印)

一九四七年五月二十五日

3026

48

6.20

贈錄江對岸，中國人民軍
非法行為調查

北朝鮮人民委員會

東亞部 崔英

北朝鮮人民委員會外務局

RECEIVED AT THE NATIONAL ARCHIVES

鴨綠江對岸中東軍不法行為的資料

- 一、九四〇年八月二十五日午後一時頃、以東部滿洲軍官の美地等、以中東軍、不法の不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 二、九四〇年八月二十五日午後一時頃、滿洲軍官の美地等、以中東軍、不法の不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 三、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 四、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 五、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 六、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 七、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 八、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 九、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 十、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。

北朝鮮人民委員會外務局

- 一、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 二、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 三、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 四、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 五、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 六、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 七、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 八、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 九、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。
- 十、九四〇年八月二十五日午後一時頃、美地等、以中東軍、不法越境の朝鮮人の射撃、北軍の故軍海軍事件。

PHOTOGRAPHED AT THE NATIONAL ARCHIVES

光武二十三年庚申の不法射撃

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、清軍の不法射撃に、不法射撃に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、清軍の不法射撃に、朝鮮人捕虜七人の射撃に、朝鮮側を向けて、約十五發、不法射撃に

五、朝鮮秘密警察

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、清軍の不法射撃に、朝鮮人捕虜七人の射撃に、朝鮮秘密警察に、三回、偵察に

六、義兵隊の射撃

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、清軍の不法射撃に、朝鮮人捕虜七人の射撃に、義兵隊の射撃に、我側保護隊に

北朝鮮人民委員會外務局

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、清軍の不法射撃に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、清軍の不法射撃に、朝鮮人捕虜七人の射撃に、清軍の不法射撃に、不法射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、清軍の不法射撃に、朝鮮人捕虜七人の射撃に、清軍の不法射撃に、不法射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、清軍の不法射撃に、朝鮮人捕虜七人の射撃に、清軍の不法射撃に、不法射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、清軍の不法射撃に、朝鮮人捕虜七人の射撃に、清軍の不法射撃に、不法射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、清軍の不法射撃に、朝鮮人捕虜七人の射撃に、清軍の不法射撃に、不法射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、清軍の不法射撃に、朝鮮人捕虜七人の射撃に、清軍の不法射撃に、不法射撃に

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

中東軍の西朝鮮共産軍の侵入を警戒す

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

北朝鮮人民委員會外務局

一、北朝鮮人民委員會外務局の報告

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

我境の三八日自軍は北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。北朝鮮人民軍の侵入を警戒す。

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

各郡別不法行為統計表 1947.5.7日

郡名	不法越境	不法渡航	不法渡航回数	取押債案	備考
江島郡	六	二	一	一	我隊管理、地民、先早給 生色各件の 物品奪去
磐山郡	一	(取押生色不法渡航者)			
沼原郡	一	四			取押生色、先早給、取
朝川郡				一	
義州郡		一	二		我隊、先早給、隊員5名、生色、先 人民、物品奪去
龍川郡	一	一	五		我隊、先早給、生色 物品奪去、二回
計	九	二	七	二	

20

北朝鮮人民委員會外務局

21

秘

北朝鮮人民委員會

中華人民共和國政府改組外黨派別

北朝鮮人民委員會外務局

東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

PHOTOCOPIED FROM ORIGINAL ARCHIVES

23

五院長

行政院長 張群

立法院長 孫科

司法院長 居正

考試院長 戴傳賢

監察院長 于右任

國民黨之改組新問題 論評此項問題 國民黨之改組 改組後之正副主席 院長外重要部內之 例如行政、外交、國防、財政等部之 正副 國民黨之改組 交通部長 俞大維之 蔣介石、陳儀等 未嘗國主義之 親信。以 社會黨之 蔣介石等之 正副。

現狀之 三在 提議之 吳其 吳其 所謂改組政府之 呼、中共、民 同盟等之 改組之 動機之 餘地之 暴露此項 民之同盟之 中央委員之 台初民之 蔣政府改組之 中國人 民之何等之 與之 吃之 國民黨總裁之 運命之 之 迫到之 吳其 吳其。

北朝鮮人民委員會外務局

著名之 國民黨員 李濟、何香凝、蔡廷鍇等、民盟、彭澤民等、救國人士、陳述生等、農工民主黨領袖李伯球、郭冠杰等、聯合聲明之 發表之、民之外交之 國民黨之 一黨專政之 凡之 之 一黨專政、內政、無限制之 通貨膨脹、借款之 繼續之 吳其 吳其、... 以之 改組後 蔣政府內之 黨派之 呈現。

原有の復興・CC法西斯(ルンペン)分子外の官僚階級の改進黨系、保
皇黨研究系出身の民社党、國家主義の青年黨の新人會の中心

一 改進黨系

蔣介石の張群を以て行政院院長として出任した。歴史上
の北平難関を以てして企圖した。今次は已往の傾向は、改進黨
系を蔣介石独裁統治下の行政権を執掌する思想を以てして、宋
を代表する財政権を掌握した。改進黨の宋子文を以てして
職を以て。改進黨系張嘉璈(公権)を以てして宋子文の副
代表として。中央銀行總裁を任じた。田大霖の直接經理人として
現れた。改進黨系を以てして北平海關時代の儲蓄、金城、中南、
大陸の北方銀行の領導人の代表。南京政府の成立以後、
南方銀行の附庸として代表。交通銀行の代表。改進黨

北朝鮮人民委員會外務局

系をCC兩陣の比として優勢を保持した。行長は錢新之
とて。改進黨系を接近して人物の代表。地方銀行の代表。改進黨
系を強有力に集団の代表として

今次國府委員中の陳耀德(光南)も亦是孔兼の改進黨系の
田大霖族經理人の代表として

蔣介石を張公権を中央銀行總裁とした。陳光南を國府委員
として代表。偶然代表として。二を以てして孔、宋を買賣する代表
として。宋の多年國府委員の代表。この信用を以てして代表。吳
蔣介石の張陳を東來早の親美分子の代表として。蔣介石を
蔣介石の代表として。選挙の代表として

孔長 王世長、財長、王鴻鈞を以て。改進黨の分子として。其
外の翁文灝、王重五、莫德惠、總務長、谷正倫、雷震等

REPRODUCED FROM THE NATIONAL ARCHIVES

五、改組後、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

北朝鮮人民委員會外務局

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。改進黨の組織、蔣政府の人物中、改進黨を主要成分とする。

蔣介石の親衛隊は其の日の北の大地を大資本家の代表に南北軍
 閩の古水野郎を以て獲得し其の蔣介石の革命代表を韓州王會善委員
 陳贊賢を以て銃殺し之を標榜する事あり。此の如きの社会會
 上の軍事活動、政治南派の如き盛傳れあり。之が政治南派の代表人
 是天張群の如き。以て其の政學系の如き北代表を修辭して上海に
 其の妹婿顧炳衡を以て銃殺し。拉攏北の政學系の蔣系軍隊中の
 活動範圍を拡大せしむ。

の後早の政學系も及南系蔣政軍中の不可解な成分の
 以て其の孫中山を以て其の代表とし楊永泰を以て其の蔣介石の
 北の親衛隊を以て助平にせしむ。楊永泰はCCの打殺後張
 群の二代表也。政學系の領導人物の如き。政學系の對外策
 略は其の親衛隊の政策をCC、復其の親衛隊等三系の如きにせしむ。

北朝鮮人民委員會外務局

例、著者も親日分子、黄郭を北平の政務委員會を以て支持
 する。親日愛國の如き。青年を以て屠殺せしむ。楊永泰を以て屠殺
 期に停甲制後を以て実行の人民を毒害せしむ。張群の如き
 長を以て屠殺期に親日愛國の如き。沈鴻烈を山東の如き第
 一の如き。敵の通の如き。人民を屠殺せしむ。陳儀を否
 前の台湾の如き屠殺せしむ。會員が行動等也。

証明の如き

政學系の特長を以て、應付手段を以て及動統制を以て其の北の
 如き。群衆を以て欺騙せしむ。其の如き。又蔣介石の如き。重利を以て
 縁故の如き。之の如き。蔣介石の如き。銃殺集團の如き。蔣介石の如き。
 無能の如き。北の如き。蔣介石の如き。蔣介石の如き。蔣介石の如き。
 政學系の代表人物を以て楊永泰(已死)黄郭(已死)現在の張群、

五月廿七年六月十八日

中國與外國間之締結

條約文

北朝鮮人民委員會

外務省東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

中國外 外國商의 締結한 條約集

一八四七條 清政府의 英國商의 南京의 丁三條條約을

締結한條約이다. 이條約은 大 南京條約이라고 하며 丁三條條約은 一

一 清政府는 賠償金二百萬兩을 英政府의 納付한條約이다.

二 香港는 永遠의 英國商의 割讓한條約이다.

三 廣州, 廈門, 福州, 寧波, 上海, 通商口를 開放하고, 英國人

民의 家族를 大리고, 居住하고, 領事館을 設置한條約을

許한條約이다.

四 英國商의 入國權의 規定은 依하고 納稅(稅則)의 法의 是로

規定한條約之後 中國商人은 早의 各地에 運搬한物의

稅則을 通過한條約은 二重課稅를 施한條約이다.

一八四四年의 美佛兩國는 英國의 中國의 南京條約締結을 機會

北朝鮮人民委員會外務局

은 北朝鮮의 利益均等을 要求한條約을 清政府는 在 美國의 佛蘭西

의 對北朝鮮의 中美條約, 中佛條約을 締結한條約이다. 이二

條約을 締結한後 美國의 佛蘭西는 中國의 領事裁

判權을 確立한條約이다.

一九五八年三月 英佛聯合軍之 北方大港之 侵入之 砲台之 攻陷
 之 故之 清政府之 諸和議之 天津條約之 締結之 故也
 天津條約之 署名之後、 以上之 北京之 條約之 交換之 故也
 之 期比在之 規程之 故也、 以上之 一八五九年 英佛公使之
 北京之 公使之 清政府之 公使之 入港之 軍艦之
 之 拒絕之 故也、 英佛聯合軍之 之 天津、北京之
 陷落之 清政府之 英佛之 諸和議之 要求之 北京條約之
 締結之 故也、 (一八六〇年)

北朝鮮人民委員會外務局

當時之 露西亞之 中國之 英佛間之 戰爭之 甚為臨時之
 之 調整之 故也、 以上之 故也、 以上之 清政府之
 強要之 中露天津條約、 中露北京條約之 締結之 故也、 以上之
 之 清政府之 英佛聯合軍戰爭之 北方之 之 餘暇之
 之 黑龍江以北之 中國領土之 之 領地後 清政府之 強迫之
 之 環境之 故也、 以上之 利益之 故也、 承認之 故也、
 天津條約之 主要之 內容之 一、
 一、 南京條約之 締結之 有期之 故也、
 二、 中露、登州、台灣、潮州、瓊州之 商埠之 故也、
 三、 英國人民之 訴訟事件之 人命、財產之 論之、 以上之
 領事館之 處理之 故也、
 四、 英國人民之 中國內各地之 游歷之 故也、 長江流域之
 各港口、 英國商船之 自由之 通商之 故也、
 五、 英國之 耶穌教徒、 天主教徒之 自由之 傳教之 故也、
 六、 四百萬兩之 賠償之 故也、
 七、 關稅協定之 承認之 (百分之五) 中國政府之 各國之 承認

是日訂正 國稅之增加若干也。當時佛蘭西之締結此條約之
 大略 中英天津條約以外之條約中之佛蘭西之締結此條約之
 以之承認也 佛蘭西軍費之 二百萬之賠償也。

北京條約の内容是：

- 一、天津條約之 繼續的之 有知也。
 - 二、天津之 南華之 開放也。
 - 三、九龍之 半島之 英國之 領土之 割讓也。
 - 四、英佛軍費之 損失費之 一百萬之 賠償也。
- 中國天津條約之 主要也及之 露國之 中國之 自由通商
 領事館之 設置也 許諾也也也。
 中露北京條約之 北滿中心之 內容也 烏蘇里江以東之
 土地也 露國之 割讓也。

北朝鮮人民委員會外務局

愛爾條約之(一八五八年)日韓條約(一) 主要內容之(一)
 一、黑龍江以北之 露國領土也也。
 二、黑龍江、烏蘇里江、松花江之 中露兩國船舶之 航行也而
 國人民之 貿易也 許諾也。

中國の日本の敗北後、一九四五日は、李鴻章の日本
 の救済の、下関條約を、締結の、二主要の内容を、以て
 記す

一、中國を朝鮮を獨立國家と承認し、朝鮮を廢除す

二、遼東半島(鴨綠江の)、鳳凰城、海城、營口及び(台湾全島
 及び琉球群島)を日本の割譲す

三、中國を日本の軍費三億兩を賠償す

四、汝市、重慶、蘇州、杭州を通商港とし、日本を割譲す
 の領事館を設置す

五、本條約の履行を保障し、故に日本の海軍隊
 を威海衛を占領す

北朝鮮人民委員會外務局

一九〇二日 清政府新強の 諸和條約の 十三條也 辛丑條約
の 締結の 二 主要内容は 此の如き也

一、賠償五千萬兩の 賠償を 一九〇二年早白一九〇四年に
毎年平均二千五百万兩に 支払はれ 本願の 利率を 合はれ
總額十億兩の 也

二、中國政府は 各國使館の 境界を 區劃し 使館境
域内之 人全部公使に 管理し 中國人は 居住し 且
各國之 公使館を 保護し 爲し 使館境域内之 護衛
兵を 設置せしむ

三、中國政府は 大流砲台を 北京の 海濱間に 設け
交通上 支障の 爲し 砲台を 設け 且 砲台に
四、各國之 北京、天津の 諸城壕間の 軍隊を 駐せしむ

北朝鮮人民委員會外務局

五、永久に 非外國籍の 加入は 禁止し 違反者に 死刑の
處置を 爲す

六、各省督撫又武官は 有司各官に 萬若外國人は 傷害し
或は 吹送す 或は 毆打し 彈丸を 射し 或は 永久に
撤職し 復職せしむ

一九二五年 日本之 中國政府之 中國之 滅亡之 約
 他條之 提出之 理由 之 主要之 內容 是 五部
 分
 第一號 第一號 中國政府之 日後 日本政府之 獨逸政府
 之 協定 是 承諾之 獨逸之 山東省之 國稅 條約
 或 其他 關係 之 條約 中國政府之 財政 亦 有 此
 一切 權利 利益 之 讓與 事項 自 處分 是 其 承諾 之 次
 第三號 中國政府之 是 山東省 內 外 之 沿海 一帶 之
 土地 以 右 島嶼 之 等 之 項目 是 均 論 之 他 國 之 讓
 與 或 之 租借 之 理由 是 該 之 理由 是
 第三號 第三號 日本人民之 南洋 洲 以 東 部 內 蒙 在 內 之 理由
 之 工商 業 之 改造 之 理由 是 必 要 之 建 物 或 之 耕作 之 理由
 北朝鮮人民委員會外務局
 之 工商 業 土地 之 租借 權 或 之 所有 權 是 認 可 之 理由
 第四號 中國政府之 中國 南 滿 洲 以 東 部 內 蒙 在 內 之 理由
 之 政治 財政 軍事 各 顧 慮 之 理由 是 此 之 理由 是
 之 日本 政府 之 商 議 之 理由 是 該 之 理由 是 第四號 中國政府
 之 若 長 鐵 道 之 管理 委員會 之 日本 政府 之 委 員 之 理由 是 二 年
 限 之 本 條 約 之 捺 印 之 理由 是 九 十 九 年 之 理由
 第五號 第一號 兩國 締 結 之 互 補 協 定 之 理由 是 適 者 之 職 務 之 理由
 之 漢 治 洋 行 公 司 之 理由 是 兩國 合 作 之 理由 是 同時 之 理由 是 日本
 政府 之 同意 之 理由 是 該 公 司 之 所有 之 理由 是 一切 權利 利益 之 理由
 是 獨 斷 獨 行 之 理由 是 該 公 司 之 理由 是 該 公 司 之 理由 是 獨 斷 獨 行
 之 理由 是 該 公 司 之 理由 是
 第六號 中國政府之 中國 之 所有 之 理由 是 沿 岸 港 灣 島 嶼 之 理由 是

〇 是 他 國 の 讓 渡 以 租 借 等 の 形 式 を 採 り 承 認 せ ば 可
 第 五 款 第 一 款 中 國 中 央 政 府 内 の 比 三 有 力 能 日 本 人 等 以
 軍 事 政 治 刺 政 等 の 顧 慮 等 以 聘 用 せ ば 可 第 三 款 從 來 中
 日 兩 國 の 警 察 事 件 の 屢 次 吃 以 以 摩 擦 以 讓 渡 以
 不 大 能 以 是 等 地 不 以 警 察 事 件 中 日 合 作 以 事 務 等
 取 得 以 以 或 是 以 以 地 不 以 警 察 事 官 署 以 以 日 本 人 是
 多 數 以 聘 用 以 以 中 國 警 察 機 關 以 改 造 以 貢 獻 以 以 以
 第 四 款 日 本 以 以 一 定 數 量 以 中 國 以 以 軍 事 以 以 一 軍 用 品 以
 半 數 以 以 日 軍 以 以 一 軍 用 品 以 採 取 以 以 以 或 以 中 國 以 以 日 本 合
 作 以 軍 需 以 以 場 是 設 置 以 以 日 本 技 師 以 以 聘 用 以 以 日 本
 材 料 以 以 以 以 以 以

北朝鮮人民委員會外務局

100

一九三五五月二十九日 天津駐屯日本軍は 參謀長福井善之
 次遺りの 中國當局の 東北義勇軍部隊を 援助することを
 北平軍司令部理事長 何應欽の 許可の 無理に 要求を提出
 せられた 國外大軍は 鋼集入関の 萬若 要求を 援後
 せられた 自由行動を 採擇の 報復に せられた 証明せられた。
 天津駐屯 日本軍司令 梅澤は 此の強硬態度を 以て 二
 結果の 六月九日 何應欽に 梅澤前 秘密協定の 締結
 の 及び 何梅協定の 成立
 の 協定を 其の 秘密を 國民党政府に 敵に 正式公布
 せられた 二 路を 一角の 否 認められた 二 各方面
 材料の 依りて 二 後 事實の 証明の 依りて 中國方面の 依り
 復行に 依りて 二 証明の 依りて 各項の 依り

北朝鮮人民委員會外務局

- 一、 前北省及北平、天津両市の 國民党上層を 取消せられた。
- 二、 前北省の 駐屯軍に 東北軍隊の 撤退せられた。
- 三、 前北省の 軍事 干渉を 北平、天津両市場を 撤廢せられた。
- 四、 北平軍司令部政治部を 撤廢せられた。
- 五、 前北省の 反日運動を 取消せられた。

完

一九四六年十月四日の米將商約を締結せられたる條約の主要内容は
 一、米國人の中國領土内に入る中國人の同業は待遇を享有するに
 持し、米國の民の身体財産の安全の好むの中國を以て
 漢口及び吳淞の保護地内を以て、米國の民の住宅、倉庫、工場
 商店及び其他業務場所（一切の商業地を含む）を、中國人は
 參觀するに許す。

二、米國の中國の採礦の權を、最惠國の權利を享受するに
 中國の所有の礦山の此の米國の海峽を以て
 三、中國の關稅外の地稅を以て、米國の最惠の待遇を享受す
 四、中國の領海、内河の米國艦隊、米國艦艇を以て、一切の船舶を
 貨物載運の乘客（武器載運の軍人は別）を以て、自由
 自由航行の自由港の開放の自由を以て、陸路を以て、

北朝鮮人民委員會外務局

五、中國の領土内の上空を以て、米國飛行機（民用、軍用を含む）
 と自由な飛行を許すに、上海、瀋陽、天津等飛行場を
 着陸せしむるに、

六、其他の米國の民の國の自由な兵隊の參加の權利を
 以て、米國人の旅行者を、米國方面の支拂の單獨に
 審判するに、米國の中國の駐軍の權利を以て。

將米航協定問題に 一九四六年八月三十日の米國他より、
 今北の將政府側の合同調印を以て、同九月三日の將政府も
 此の上海一線の航路に着陸協定を調印する。これは、
 將米航協定を以て、正しく、締結せられたるに、

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

17.825-3.557 2,543 17,358
18.128 2,734 2,177

北朝鮮人民委員會外務局

南朝鮮人民抗爭支援金出地區別總集計表		北朝鮮人民委員會	
地區別	地區別	戶數	人員
牡丹江	七街	二五三七	一〇,五五〇
(市外)	八街	一五七七	七,五七八
(市內)	二街		三,四二〇
小計	五街	四,〇〇四	二,五八八
新海縣	四街	二,八二八	一,三三六
北後橋縣	九	二,五五七	一,五〇六
南後橋縣	八	三,五四三	二,七五九
平安縣	三	三,五九九	二,六八六
合計		二五,九二九	一〇,八八七

現金	米	別是文	手巾	麻袋	雜品	備考
一〇,五五〇	八,五五〇	五〇件	四〇枚	八枚	件	
七,五七八	八,五五〇	二〇件	二八三	六		白米 九二五 小米 八五九
三,四二〇	一,九〇〇	二五三	二五			白米 九二二 小米 六七〇
二,五八八	一,三三六	一〇八八	六八九	九四		白米 九二二 小米 六七〇
一,三三六	一,五〇六	三三五	七四四			白米 四三三 小米 二四七
二,七五九	二,七五九	三三	三〇二			白米 三三三 小米 四四二
二,六八六	一,九〇〇	九三四	文四七			白米 四三三 小米 二四七
一〇,八八七	一〇,八八七	一〇,八八七	一〇,八八七	九四	三三	白米 四三三 小米 二四七

南朝鮮人民抗留支援金品集計表

住所	姓	姓名	戸数	人数	現金	米	紙	手巾	麻袋	北朝鮮人民委員會外務局	
										現金	米
新海縣		新安區	一六四七	七五八	三九八	六	三	四	六		
		名海區	四八八	二五八	一、二四〇	三	一	二	三		
		山市區	二二二	一、二五九	二、〇五〇	一	一	二	三		
		海林區	一、二八〇	六、五五三	八、五三六	一〇	八	一	二		
小計		四	二、二二六	一七、八五九	二一、三六六	二〇	一六	五	六		
北穆後縣		八通通區	一、一三〇	八、八八三	一〇、五九〇	一	一	二	三		
		梨樹鎮區	四、五三	三、六三〇	四、五三〇	二	二	三	四		
		曹興村區	五、七〇	一、二〇五	一、五〇〇	一	一	二	三		
		平盛村區	五、五七	二、〇五〇	二、五〇〇	一	一	二	三		
		福祿村區	二、四〇	一、六〇五	二、〇〇〇	一	一	二	三		
住所		姓名	戸数	人数	現金	米	紙	手巾	麻袋		
北穆後縣		智米村區	一、九五	二、四九〇	三、〇〇〇	一	一	二	三		
		更新村區	二、三八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一	一	二	三		
		成德村區	九、九五	三、三三〇	四、〇〇〇	一	一	二	三		
		三道威子區	九、〇	九、三三〇	一〇、〇〇〇	一	一	二	三		
小計		三、五七	一三、四〇六	一六、〇〇〇	四	四	五	六	七		
南穆後縣		蘇石石區	四、九八	七、五九九	八、〇〇〇	一	一	二	三		
		興源鎮區	四、五三	五、三三〇	六、〇〇〇	一	一	二	三		
		泉眼河區	四、九五	四、二七〇	五、〇〇〇	一	一	二	三		
		穆穆區	四、〇一	七、五三〇	八、〇〇〇	一	一	二	三		
		下城子區	五、五九	四、二二〇	五、〇〇〇	一	一	二	三		
		大城廠區	一、〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一	一	二	三		

44

住所	團體名及姓名	戶數	人量	現金	米	布疋	手巾	麻袋	其他	北朝鮮人民委員會外務局	
										件	枚
太平村區				六〇〇							其他
牛心山區			三三八	四四〇〇							
寧安縣	第一區	二〇七	五二〇	四九一	七〇八	三九〇	一九九				七八
寧安縣	第二區	一〇八〇	五〇〇〇	一〇一四	五二三六	四八七	二九五				四五
寧安縣	第三區	一四三	七三八	二四四〇	七三	五七	一五三				
牡丹江市	西安区	三五九九	七三六八	八四三九	九〇	九〇	二四七				一一三
牡丹江市	共榮街	三九五	一四三〇	一六三二	三	三	七一				二六
牡丹江市	西安街	六七二	二五二八	二一三五	九三	九三	七八				三四
牡丹江市	共觀街	三五二	一五五〇	一〇〇〇	二二〇	二	八一				一一
牡丹江市	立新街	一八四	七三五	七〇〇	三五五	三	一一				四
牡丹江市	愛民街	六〇	二八八	二五〇	九三九	一八〇	一一				三三
住所	團體名及姓名	戶數	人量	現金	米	布疋	手巾	麻袋	其他		
鐵峯河區	鐵峯河區	三三五	一六四五	一八四二八	三三二	二〇	五三				
鐵峯河區	鐵峯河區	三三	一三八	二五〇	百九二	六二	一四				六
鐵峯河區	鐵峯河區	二二	一〇〇	二二八〇	九二	三〇	五				
鐵峯河區	鐵峯河區	七二	二九四		二〇〇	一	一〇				一
鐵峯河區	鐵峯河區	二二四	一三三五	一八九九〇	一六八五	五	四				
鐵峯河區	鐵峯河區	四二	一八九		一九二						
鐵峯河區	鐵峯河區	二〇八	八五四	八四九〇	二二二	七	七				
鐵峯河區	鐵峯河區	一〇五	五四七	四四三	二三四	一四	四				
鐵峯河區	鐵峯河區	八四	三五		三三三						
鐵峯河區	鐵峯河區	四〇	一六二	七九	一九	七	六				
小計		四〇四	一八三	七五六	一六九	七五	二六	九五			

住所	住戶姓名		加入人員數	現金	米	其他	其他
	姓	名					
牡丹江市	市公安會	市公安會	一	一一	六	二	二
"	街頭團	街頭團	三	二二八	八	二	二
"	聯中學校	聯中學校	二	六一	二	二	二
"	朝陽一小	朝陽一小	二	一〇〇	二〇三	二	二
"	聯合會	聯合會		二一			
"	牡丹江市	牡丹江市		七	二二五		
"	朝陽人民	朝陽人民			三七〇		
"	市場	市場			三三五		
綏陽縣	綏芬河	綏芬河			六二五〇		
"	保安隊	保安隊		四四	八八〇〇		
小計			二二	三〇六	六五七	二〇五	

住所	團體名稱	加入人員數	現金	米	其他	其他
牡丹江	人民新報社	七〇	二二八〇			
"	市法院	一				
"	市警察局	二八	二四七〇			
"	宗教團體	四	七三			
"	老人會	一四四	一九三四	一一	三	九
"	酒樓會	三	五七			
"	公安中隊	五〇	一三〇			
"	霍黃淑	二				
"	青年會	二				
"	市警察局	三	三五〇	八〇	六	
"	市警察局	四	五〇〇			

49

30/6

(秘)

一九四七年九月三十一日

米國對中政策以

英米關係

北朝鮮人民委員會以務局

東亞部產英

北朝鮮人民委員會外務局

米國の対中政策

五國公約に基づく対中政策の實現は、
米英日相會議の中國問題の解決の爲に
必要なり

三國相會議の中國問題を對し意見
交換の結果、中國を民族政府の指導下に統一せしめ
民主主義化を必要とし、國民政府を中央地の對に
協定を締結せしむ。中國の政不干渉政策の
確立の結果、二國以上、米西國相會
議の結果、上海軍事會議の對に、完全の協定を
発見せしむ

48

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮政府の対中政策は如何か、
北朝鮮人民委員會外務局長の演説を
要するに、北朝鮮政府は、北朝鮮の統一を
國民政府の對に、民主主義的方針を
示し、中國の統一を主張し、中國人自
身の統一を主張し、北朝鮮の統一を
主張するに、北朝鮮の統一を主張するに、
北朝鮮の統一を主張するに、

美國の如く一平等の國民院軍隊の
行使に、北朝鮮の統一を主張するに、
北朝鮮の統一を主張するに、
北朝鮮の統一を主張するに、
北朝鮮の統一を主張するに、
北朝鮮の統一を主張するに、
北朝鮮の統一を主張するに、

米國領之 從前此意也 猶力以故也 可及的 友誼的 競爭 所以此也
尊重此也 所以此也 一

2. 此也 米國資本主義也 此英國親商也 此其國親商也 此其國親商也
所以此也 米國人之意也 中國人之意也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 米國之德也 中國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 米國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 米國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 米國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也

所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也

北朝鮮人民委員會外務局

所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也

新任英大使 所以此也 所以此也 所以此也 所以此也 所以此也

所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也

英國人等之 國民黨指導層也 所以此也 所以此也 所以此也

所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也

所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也
所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也

所以此也 英國之德也 英國之德也 所以此也 所以此也 所以此也

此等也也 中國軍當局의 香港의 港地建設을 利用하는 計劃은
 目前 時勢에서 中國海軍의 入港을 訓練하기는 氣力가 充實한 狀
 況에 達한 後의 商業界의 代表者로서 重工業及 輕工業의 建設
 事業의 代表者로서 英國 通商使館의 中國에 到達한 後의 重要
 是 英國對華의 大計劃力說한 狀
 「也」는 亦 中國 通商의 自由는 視察員(可使官)의 立場
 에서 英國의 中國에 對한 貿易의 從前地 狀況을 回復하기는 莫大의 努力
 力을 要한다 是 報云한 狀이다。 이 英國使館의 對華 立場은 獲益한 後
 者의 貿易上 經濟 財政上 諸條件을 研究한 狀이다 이 中國對
 華의 狀況은 英國의 因長은 是 狀이다 五五二四 十 九 十 五 南 米 的
 中國에 對한 貿易의 大部分이 英國의 手中에 集中되니 是 狀이다 이
 自己의 立場을 披發한 狀이다

北朝鮮人民委員會外務局

中國航運界의 地位 英國의 利益을 保障한 金權은 亦 北朝鮮의 美
 國大特權을 是의 狀을 反對가 爲한 英國航運使館의 中國에 對한
 帝國의 航運之權을 復舊한 狀이다 中國航運界의 地位은 對常助說
 者의 立場은 五五二四 十 九 十 五 中國에 對한 地位은
 五五二四 十 九 十 五 中國의 市場의 是 英國商船의 並行한
 英國商船의 瑞典各國商船의 是 是 狀이다 是의 對한 是 狀이다
 英國商船의 最近의 狀은 中國市場에 獲得한 狀이다 極大의 前年의 狀
 狀이다 英國商船의 對中貿易上 地位을 復舊하기는 對
 常助說한 狀은 是 狀이다 是 狀이다 是 狀이다
 英國의 對中輸出入을 恢復한 狀은 是 狀이다 中國의 外國輸出入
 地位은 是 狀이다 是 狀이다 是 狀이다 是 狀이다 是 狀이다
 是 狀이다 是 狀이다 是 狀이다 是 狀이다 是 狀이다 是 狀이다

朝鮮人民委員會外事局

朝鮮人民委員會外事局

朝鮮人民委員會外事局
及時期之對外關係

朝鮮人民委員會外事局

陳亞初 崔英

朝鮮人民委員會外事局

國民黨中央調查統計局の沿革は、本時期の状況に於て、
 國民黨中央調査統計局の前身は、清室後期の國民黨中央調査統計局の
 現存資料の整理、本調査局の成立は、改進黨の成立に於て、
 本調査局の成立は、改進黨の成立に於て、
 本調査局の成立は、改進黨の成立に於て、
 本調査局の成立は、改進黨の成立に於て、

本調査局の成立は、改進黨の成立に於て、

初創時期は、一九三七の四月、清室後、蒋介石の成立は、
 以後の組織は、
 形勢に於て、
 任科長の日見、
 査料之浪中(已死)濮孟九、張國棟、顏達中、姚北麟、
 鮑尚平、
 一九三九年四月、

北朝鮮人民委員會外務局

現在、
 一九三九年四月、
 一九三九年四月、
 一九三九年四月、
 一九三九年四月、

調査統計局の時期は、
 一、我党(中共)の秘密組織を破壊した事、
 中の提出は、
 暴動を鎮圧し、
 一九三九年四月、
 幹部の欠乏、
 破壊された、
 二、各地の革命、
 一九三九年四月、

一九三〇年
 一九三一年の時期の反蔣勢力は極めて大に弱化了す。根本として蔣の統治が威風凛々たる
 勢に達したと見られる。一九三一年の桂系と手薄な武漢の敗退は蔣の蔣西軍を北に
 五、六月の間に押し退け、北平の失墜に、一九三二年の南滿鐵大分議の失敗が改
 造派の着目点となつた。蔣の政策（一九三二年の南滿鐵大分議）は軍力量の増長の蔣の
 重視を引起した。一九三二年の南滿鐵大分議の失敗は、江西方面、右派の
 張敬堯（張敬堯）（一九三二年）の反蔣後、各地に自派の勢力が展開した。國民党の
 勢力の中心は、今では集約して、我々は対処する所である。

一九三二年、上海特科責任人、陳肇基、の報告を調查科の報告を利用して特
 務工作の政策を加へた。一九三二年の南滿鐵大分議の失敗は、一九三二年の
 一、瀋陽事件を利用して、訓練班を設け、訓練班を利用して、先任は徐錫根、
 二、設け、南滿鐵大分議の失敗は、訓練班を利用して、先任は徐錫根、

潘琦、王公程、宋龍、梁輔丞、郝大海、陸復齋、王克全、羅卓英、黃平

北朝鮮人民委員會外務局

一九三二年の報告は、同時の北平の南及び南の調査班の成立を、
 一九三二年の報告は、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、
 一九三二年の報告は、北平の南及び南の調査班の成立を、
 一九三二年の報告は、北平の南及び南の調査班の成立を、

一九三二年の報告は、北平の南及び南の調査班の成立を、
 一九三二年の報告は、北平の南及び南の調査班の成立を、

此日一九三九及特殊之... 秘密の機關を採取... 北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局

中朝局の... 秘密の機關を採取... 北朝鮮人民委員會外務局

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

此種大之... 此種大之... 此種大之...

「特種機關」... 最近來京... 又據某機關... 出現... 某... 中... 又... 此種大之...

此種大之... 最近上海... 上海... 此種大之...

北朝鮮人民委員會外務局

此種大之... 最近... 此種大之... 此種大之...

此種大之... 最近... 此種大之... 此種大之...

73

秘

一九四七年八月三日

2012 215

朝鮮民主主義人民共和國

外交部

北朝鮮人民委員會外務局

宋重光 簽

北朝鮮人民委員會外務局

議定書

日韓兩國之親善和睦 乃政府之要務也 其所以維持之者 在於兩國人民之親善和睦也 兩國人民之親善和睦 乃兩國親善和睦之基礎也 兩國人民之親善和睦 乃兩國親善和睦之基礎也 兩國人民之親善和睦 乃兩國親善和睦之基礎也

第一條 韓日兩國政府 自即日起 將以前兩國政府所簽訂之各項條約 均予廢止 其理由如下 一 兩國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止 二 兩國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止

第二條

第一條 大韓民國政府 自即日起 將以前大韓民國政府所簽訂之各項條約 均予廢止 其理由如下 一 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止 二 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止

第二條 大日本帝國政府 自即日起 將以前大日本帝國政府所簽訂之各項條約 均予廢止 其理由如下 一 大日本帝國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止 二 大日本帝國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止

第三條 大韓民國政府 自即日起 將以前大韓民國政府所簽訂之各項條約 均予廢止 其理由如下 一 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止 二 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局 自即日起 將以前北朝鮮人民委員會外務局所簽訂之各項條約 均予廢止 其理由如下 一 北朝鮮人民委員會外務局所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止 二 北朝鮮人民委員會外務局所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止

第四條

大韓民國政府 自即日起 將以前大韓民國政府所簽訂之各項條約 均予廢止 其理由如下 一 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止 二 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止

大韓民國政府 自即日起 將以前大韓民國政府所簽訂之各項條約 均予廢止 其理由如下 一 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止 二 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止

第五條

光復(1945) 乃三十一日 大韓民國政府 自即日起 將以前大韓民國政府所簽訂之各項條約 均予廢止 其理由如下 一 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止 二 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止

大韓民國政府 自即日起 將以前大韓民國政府所簽訂之各項條約 均予廢止 其理由如下 一 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止 二 大韓民國政府所簽訂之各項條約 均係在武力威迫之下 簽訂者 故其效力自即日起 即行廢止

特命全權公使 林權助

第二次報告

朝鮮の民主主義運動の進行状況及びその意義を報告する

一、大韓政府の民主主義運動の進行状況及びその意義を報告する

一、大韓政府の民主主義運動の進行状況及びその意義を報告する

一、大韓政府の民主主義運動の進行状況及びその意義を報告する

一、大韓政府の民主主義運動の進行状況及びその意義を報告する

一、大韓政府の民主主義運動の進行状況及びその意義を報告する

北朝鮮人民委員會外務局

林権助

尹致昊

朝鮮民主主義人民共和國

第三次條約(乙)條約(高麗復條約)

日本國政府及韓國政府之西南國之條約之利益者韓國之利益者韓國政府及韓國政府之西南國之條約之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者

北朝鮮人民委員會外務局

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者

第條日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者日本國政府之利益者

外務大臣

林權助

明治十八年(一九〇五年)十月十七日

日本國政府及韓國政府之西南國之條約之利益者韓國之利益者韓國政府及韓國政府之西南國之條約之利益者

北朝鮮人民委員會外務局

外務部大臣 朴春純

內務部大臣 李址鎔

軍務部大臣 李根澤

法務部大臣 李秉世

農林部大臣 李權重

學務部大臣 李完用

北朝鮮人民委員會外務局

第三次協約

日本國政府及韓國政府並承前韓國之屬領之南滿洲之韓國及朝鮮之增進其利益之目的在於
前條協約之規定

第一條 韓國政府之施設政策其目的之統制指導等之受託事。

第二條 韓國政府之法令之制定及重要之行政之執行等之統制以承認其經濟事。

第三條 韓國司法事務之普通行政事務等之區別其事。

第四條 韓國警察官吏之任命之統制以同意其行政事。

第五條 韓國政府之統制權其任命人及韓國官吏之任命等事。

第六條 韓國政府之統制以同意其外國人之僱聘等事。

第七條 朝鮮之土地所有權(在土地所有權)之自韓國政府之廢止等事。

右協約之執行之日本國政府之相對於委任之受託日本協約之規定

即此之由

北朝鮮人民委員會外務局

光緒三十二年(一九〇六年)八月五日

內閣總理大臣 趙秉世 李兌用

朝鮮國王(高宗)李熙

統監 侯爵 伊藤博文

朝鮮民主主義人民共和國 (一九四八) 八月二十五日

統帥 金日成 第一副統帥 朴正毅

最高人民會議 (一九四八) 八月二十五日

內閣總理大臣 李光弼

大相連閣 (一九四八) 八月二十五日 內閣總理大臣 李光弼

內閣總理大臣 李光弼

內務大臣 朴春純

農林大臣 趙重德 學務大臣 李春植

外交部大臣 高永喜

北朝鮮人民委員會外務局

一、得此但人... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、... 五十一、... 五十二、... 五十三、... 五十四、... 五十五、... 五十六、... 五十七、... 五十八、... 五十九、... 六十、... 六十一、... 六十二、... 六十三、... 六十四、... 六十五、... 六十六、... 六十七、... 六十八、... 六十九、... 七十、... 七十一、... 七十二、... 七十三、... 七十四、... 七十五、... 七十六、... 七十七、... 七十八、... 七十九、... 八十、... 八十一、... 八十二、... 八十三、... 八十四、... 八十五、... 八十六、... 八十七、... 八十八、... 八十九、... 九十、... 九十一、... 九十二、... 九十三、... 九十四、... 九十五、... 九十六、... 九十七、... 九十八、... 九十九、... 一百、...

北朝鮮人民委員會外務局

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、... 五十一、... 五十二、... 五十三、... 五十四、... 五十五、... 五十六、... 五十七、... 五十八、... 五十九、... 六十、... 六十一、... 六十二、... 六十三、... 六十四、... 六十五、... 六十六、... 六十七、... 六十八、... 六十九、... 七十、... 七十一、... 七十二、... 七十三、... 七十四、... 七十五、... 七十六、... 七十七、... 七十八、... 七十九、... 八十、... 八十一、... 八十二、... 八十三、... 八十四、... 八十五、... 八十六、... 八十七、... 八十八、... 八十九、... 九十、... 九十一、... 九十二、... 九十三、... 九十四、... 九十五、... 九十六、... 九十七、... 九十八、... 九十九、... 一百、...

83

秘

五十七年七月

局長先生

中蘇友好同盟條約文

北朝鮮人民委員會外務局

東亞部崔英

北朝鮮人民委員會外務局

双方照会

一、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的
 是部长之特别特权的调查的意向之调查之在里可说也。

二、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。
 三、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。

四、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。
 五、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。

六、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。
 七、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。

八、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。
 九、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。

北朝鲜人民委员会外務局

一、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。
 二、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。

三、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。
 四、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。

五、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。
 六、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。

七、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。
 八、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。

九、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。
 十、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。

十一、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。
 十二、上述条约的精神以调查日本意图的意向之调查之在里可说也。

此の北聯政府と東三省は中國の一部を以て中國の対北東三省の
故を以て尊重するが其領土行政の完結を承認す

三、新疆最近事變の爲に北聯政府とハミヤ同盟友好條約を締結
議定す。中國内政を干渉せしむるに同意せず。以上ハ米地は在野を

諒解す。在野部長の同意の證明は此の日本總領事館に貴部長
の同意文と上級の友好同盟條約の一部の註本部長と特別の事項

を諒解す。正廳は聲明は本部長と貴部長のハミヤ同盟友好條約を
蘇聯外交人民委員部 是日在日部長

中華民國三十四年
四月十九日

二、米翰、部長閣下蘇の北蒙在人民の其独を以て願はる。兩次表
示此の中國政府と日本。敗戦後北蒙在人民の投票は此の
此を認むるは此項希望を以て其の同意を聲明す。中國政府

北朝鮮人民委員會外務局

と北蒙在の独立を當然に承認す。現在の境界を之境界を以
て聲明す。民國三十四年八月五日。調印は中蘇友好同盟條約の批准
計正廳は米翰、本部長と貴部長のハミヤ同盟友好條約を承認す

蘇聯外交人民委員部 是日在日部長

中華民國三十四年
四月十九日

乙、米翰、部長閣下、南下の懸念を以て韓兵の接受を阻む。蘇の北
蒙在人民の其独を以て願はる。兩次表示此の中國政府と日本。敗
戦後北蒙在の人民の投票は此の此を認むるは此項希望を以て其
の同意を聲明す。中國政府と北蒙在の独立を完全に承認す
以現在の境界を之境界を以て

甲の聲明と民國三十四年八月五日。調印は中蘇友好同盟條約の批准
計正廳は米翰、本部長と貴部長のハミヤ同盟友好條約を承認す

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

88

蘇聯政府之 中華民國政府之 對北平 上項照會及電報悉均接受北平
 內廷政府表示不認 蘇聯政府之 蒙古人民共和國政府北領土
 以另舉之 尊重北平 本部長是貴部長之 對北平之 崇高也
 敬請注意表也

中華民國國民政府外交部王部長世杰
 中華民國三十四年
 西曆一九四五年八月十九日

北朝鮮人民委員會外務局

理事長に在りて一人の助理理事長を以て大理事會を代表す。助理理事長は技
 術之三票を計算し、理事會の決議人数を以て一人の理事會の決議を
 項重要な問題を得るに足らず、應当の協約國政府に以て公
 平に友好の關係の精神を以て解決せしむ。

第九條 公同の理事會は、設置し、其事を以て一人の組織のうちに其の中一人を
 政府に早の代表せしむ。夫は蘇聯政府に早の代表せしむ。理事長は、應當
 蘇聯政府に早の代表せしむ。助理理事長は、應當蘇聯政府に早の代表せしむ。
 理事會を代表す。理事長は、投票に及て、兩票を計算し、決す。人数に及
 不足保平時の事務は、理事會の決議を以て理事會の局長を、蘇聯政府に早の代表せしむ。
 第十條 理事會の總検査官は、助理検査官を一人を、理事會の決議を以て、
 官を、蘇聯政府に早の代表せしむ。總検査官と、助理検査官の二人は、

北朝鮮人民委員會外務局

第十一條 本條は、蘇聯政府に早の代表せしむ。局長、局長は、重要事項の取決を、
 助理理事會の任命に、鐵道局長と上項職任の一人を、以て、以て、以て、
 此の理事會の理事會の局長の職を、以て、以て、以て、以て、
 此の局長、局長の職務の、助理局長と、應當蘇聯政府に早の代表せしむ。
 第十二條 局長と、蘇聯政府に早の代表せしむ。局長と、蘇聯政府に早の代表せしむ。
 局長と、蘇聯政府に早の代表せしむ。局長と、蘇聯政府に早の代表せしむ。

第十三條 中國政府は、早の鐵道を、保護せしむ。此の中國政府は、應當蘇聯
 政府に早の代表せしむ。鐵道の保護に、必要は、蘇聯政府に早の代表せしむ。
 第十四條 鐵道の保護に、必要は、蘇聯政府に早の代表せしむ。
 第十五條 鐵道の保護に、必要は、蘇聯政府に早の代表せしむ。
 第十六條 鐵道の保護に、必要は、蘇聯政府に早の代表せしむ。
 第十七條 鐵道の保護に、必要は、蘇聯政府に早の代表せしむ。
 第十八條 鐵道の保護に、必要は、蘇聯政府に早の代表せしむ。
 第十九條 鐵道の保護に、必要は、蘇聯政府に早の代表せしむ。
 第二十條 鐵道の保護に、必要は、蘇聯政府に早の代表せしむ。

取政府之比列國言其境在軍事上之海權故其北以四海軍權本自
 免保其該國軍南端以蘇聯之北其海軍之責任以蘇聯之北故其
 護其一員是故其北以蘇聯之北

其北條上鐵路之一蘇聯政府之北以蘇聯之北其境在軍事上之海權故其北以四海軍權本自
 免保其該國軍南端以蘇聯之北其海軍之責任以蘇聯之北故其
 護其一員是故其北以蘇聯之北

其北條上鐵路之一蘇聯政府之北以蘇聯之北其境在軍事上之海權故其北以四海軍權本自
 免保其該國軍南端以蘇聯之北其海軍之責任以蘇聯之北故其
 護其一員是故其北以蘇聯之北

其北條上鐵路之一蘇聯政府之北以蘇聯之北其境在軍事上之海權故其北以四海軍權本自
 免保其該國軍南端以蘇聯之北其海軍之責任以蘇聯之北故其
 護其一員是故其北以蘇聯之北

北朝鮮人民委員會外務局

其北條上鐵路之一蘇聯政府之北以蘇聯之北其境在軍事上之海權故其北以四海軍權本自
 免保其該國軍南端以蘇聯之北其海軍之責任以蘇聯之北故其
 護其一員是故其北以蘇聯之北

其北條上鐵路之一蘇聯政府之北以蘇聯之北其境在軍事上之海權故其北以四海軍權本自
 免保其該國軍南端以蘇聯之北其海軍之責任以蘇聯之北故其
 護其一員是故其北以蘇聯之北

其北條上鐵路之一蘇聯政府之北以蘇聯之北其境在軍事上之海權故其北以四海軍權本自
 免保其該國軍南端以蘇聯之北其海軍之責任以蘇聯之北故其
 護其一員是故其北以蘇聯之北

中華民國三十一年八月十四日

一九五〇年八月十四日 於平壤

中文、朝鮮文、各三篇 中文、朝鮮文、同等比例力可也

中華民國政府全權代表(沈若蘭)

北朝鮮人民委員會全權代表(沈若蘭)

北朝鮮人民委員會外務局

「開放大連港口捕鯊」

大連港は、開港以来、中華民国の主要な社会主義共和国聯邦の友好
な關係にある。この關係は、社会主義共和国聯邦と中國の關係の
一環として、中国の東部の全体的な主権を保障し、中國の不可分割の
領土の一部として、社会主義共和国聯邦と大連の対外的な化貨物進出口
利益獲得を保障する保証として、中華民国の意向による。

- 一、大連は、自由港として、自由貿易及搬運の対外的な権利を開放し、
- 二、中國政府の別荘として、大連の港に、該自由港の地位を確保し、該自由港の
- 三、大連の行政は、中國の領土と港とを任せる中國長官兼總領事の長官兼總領事の
- 四、大連は、大連市長の同意による後、社会主義共和国聯邦の副市長と一に、該自由港の
- 五、大連の港に、該自由港の地位を確保し、該自由港の地位を確保し、該自由港の

北朝鮮人民委員會外務局

- 一、大連は、自由港として、自由貿易及搬運の対外的な権利を開放し、
- 二、中國政府の別荘として、大連の港に、該自由港の地位を確保し、該自由港の
- 三、大連の行政は、中國の領土と港とを任せる中國長官兼總領事の長官兼總領事の
- 四、大連は、大連市長の同意による後、社会主義共和国聯邦の副市長と一に、該自由港の
- 五、大連の港に、該自由港の地位を確保し、該自由港の地位を確保し、該自由港の
- 六、大連は、自由港として、自由貿易及搬運の対外的な権利を開放し、
- 七、中國政府の別荘として、大連の港に、該自由港の地位を確保し、該自由港の
- 八、大連の行政は、中國の領土と港とを任せる中國長官兼總領事の長官兼總領事の
- 九、大連は、大連市長の同意による後、社会主義共和国聯邦の副市長と一に、該自由港の
- 十、大連の港に、該自由港の地位を確保し、該自由港の地位を確保し、該自由港の

中華民國政府之代表 蘇聯政府之代表

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

大連協定之簽字

一、中國政府之蘇聯政府關於大連之軍事及設備之事項無異於蘇聯政府之代表

二、蘇聯政府之代表及其他華北港口之軍事及設備之中國政府

三、蘇聯政府之代表及其他華北港口之軍事及設備之中國政府

中華民國政府代表 蘇聯政府代表

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

大連協定之簽字 蘇聯政府代表(記者印)

蘇聯政府代表(記者印)

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局 蘇聯政府代表(記者印)

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

蘇聯政府

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

上列各款係由蘇聯政府代表(記者印)

該區域內之行政事務皆由該區域內之人民負責之保證其行政之
 好政者高司令之建議之該行政高司令之行政之及司令之萬事皆議之
 中之司令之事務之孔是司令之建議中蘇軍事委員會之議之及蘇議院
 之矣

第10條 駐紮朝鮮之軍隊之地位及範圍內之全部權利之及駐紮海軍
 軍之駐其駐紮地是決定之矣

第11條 駐紮朝鮮之軍隊之該行政區域內之建置之及一切設備之及
 是設置之及是負擔之

第12條 本協定之期限及該區域內之建置之及一切設備之及
 是負擔之及是負擔之

第13條 本協定之期限之及是負擔之及是負擔之

北朝鮮人民委員會外務局

本協定之及是負擔之及是負擔之

中華民國三十八年八月十日

西曆一九四九年八月十日

北朝鮮の民主主義的統一を主張するに当り、北朝鮮の統一を促進するに必要とする諸問題を解決するに努むることを宣言する。

(七) 北朝鮮の統一を促進するに必要とする諸問題を解決するに努むることを宣言する。

(八) 本協定は、本協定の締結に先立ち、北朝鮮の統一を促進するに必要とする諸問題を解決するに努むることを宣言する。

北朝鮮の統一を促進するに必要とする諸問題を解決するに努むることを宣言する。

北朝鮮人民委員會外務局

100

秘

一九四七年八月九日

同 錄

東北戰況

北朝鮮人民委員會外務局
東 亞 部

北朝鮮人民委員會外務局

東北戰況

(五月十一日—七月一日) (五下日回)

我軍夏秋攻勢之五月十日早前 東亞南滿攻勢、
 冀東各地戰場の如く、開始に、同時に、敵の対北攻勢(進
 攻的)の展開は、相互配合の七月一日の如く、五月十日の
 敵殲滅八万余名、四三二縣城(三中六他)に、敵の占領地
 (北)を收復した。敵の占領地區十万余平方キロに
 約一千万(冀東を除く)の
 人口、鉄道を控制した。二四五百全里に、
 敵の、우리에對し、東西南北、
 據地、分割計劃、所謂、二、
 完全に粉碎した。此の、四平街の、
 固守した

北朝鮮人民委員會外務局

敵の、
 中長路、
 收縮した。所謂、
 昨年の平街戦役、
 除北外、
 局勢を、
 創造した。此の、
 敵軍官死七一覽表

番号	職別	姓名	数字	番号	職別	姓名	数字
七一	軍長	馮家毅	一	獨三	師長	校以上軍官	一四
七二	師長	韓增棟	一			校以上軍官	三三九一
七三	師長	任忠孝	一	合計			三三三〇九
七四	師長	王景岩	一				

敵軍官俘虜一覽表

番	號	職別	姓	名	數	字	備	考
七軍二師	四師	師長	陳	甫文	一		敵俘虜合計之十	
七軍九師	副師長	鄧	麟光	一			似師以兵力可	
七軍二師	陳	麟光	陳	呈詳	一			
七軍二師	校以上	軍官		四次				
〃	校以下	官		兵	五八九四六			
合計					五八九五			

正規軍校以上擊滅一覽表

七軍八師	一	新軍新三師九團	一	七軍直招澤地營	一			
七軍九師	一	新三師二二團	一	新三師三師三營	一			
合計					二			

北朝鮮人民委員會外務局

七軍五師	一	七軍軍直招林團	一	七軍五師一團	一			
合計					一			
合計					四			

敵滅北地方部隊之整批者之

青三師、暫三師、獨三師、偽八軍八團、保三團

保久團、保七團、保七團、昌黎保安團、合計八團、保三團

我軍收復以敵引占領北縣城一覽表

日	我軍收復縣城	計	敵佔領北縣城	計	日	我軍收復縣城	計	敵佔領北縣城	計
雙山	一		一		黎樹	一		一	
公老峯	一		一		通化	二		二	
通遠	一		一		源	一		一	
合計					合計				

104

秋

一九四七年八月一日

國社黨自由來

北朝鮮人民委員會
外務局東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

國社黨の由來

一九三〇年春李中回之農紅軍の以てハ 發展せしめ
 上海の大部分大學教授(張君勱、張東蓀)の官修改定
 (湯御銘、徐夢岩)之中國共產黨の力量の増長を以て
 寧靜の同時のハ 國民黨之統制上のハ 以て奔馳せしめ
 此を以て國社主義 之を以て 中國の指命統制
 外來科を以て申す事アリ 中國を 逐つて之を
 彼の以て國社主義の國家主義を以て 羅隆基以て新
 派の又其象 梁實秋の滬南來、甚至於改定の章士釗の
 吸收せしめ、之の最初の一定の 名稱ハ 一定の組織
 形式の以て 陣中後の 羅隆基、梁實秋の北平のハ 自由評
 論の以て 一以て刊物を 取扱はしめ、外人を以て 自由評論派と
 早之ハ 原來張東蓀之 一九三〇年上海のハ 時事新
 報を 主持せしめ 國社主義の主張を 高揚せしめ、一
 三年北平のハ 教鞭を以て以て之 黨綱數條を以て
 此の之時張君勱之 燕京大學の以て之 兩人の商議は
 其の益世報主筆 羅隆基を以て之 兩生社を發起
 組織せし 兩生社雜誌を 發刊せし 之際 衆對界を 兩派
 の學生の一部分 政界の以て之 北平の總部を 設置す
 天津上海、武漢等のハ 分部を 設立せし 以て之 兩
 生時期を 以て之 天津、京滬のハ 活動せしめ、
 一方固之を 當時士農革命の好ハ 恐怖を 表示
 此の以て之 民族本位主義を以て 共產主義の 反對

北朝鮮人民委員會外務局

論の以て 一以て刊物を 取扱はしめ、外人を以て 自由評論派と
 早之ハ 原來張東蓀之 一九三〇年上海のハ 時事新
 報を 主持せしめ 國社主義の主張を 高揚せしめ、一
 三年北平のハ 教鞭を以て以て之 黨綱數條を以て
 此の之時張君勱之 燕京大學の以て之 兩人の商議は
 其の益世報主筆 羅隆基を以て之 兩生社を發起
 組織せし 兩生社雜誌を 發刊せし 之際 衆對界を 兩派
 の學生の一部分 政界の以て之 北平の總部を 設置す
 天津上海、武漢等のハ 分部を 設立せし 以て之 兩
 生時期を 以て之 天津、京滬のハ 活動せしめ、
 一方固之を 當時士農革命の好ハ 恐怖を 表示
 此の以て之 民族本位主義を以て 共產主義の 反對

此等提出の如く 在り方面の如く 当時蔣介石の政策の
 不爲る所の如く 此等は 地位を分取する所の 新
 民主政治の如く 口を提出する 該黨幹部に 蔣介石の
 宣言の 中國の現在に 改革の如く 性質論の如く 國民黨の
 腐敗の如く 共產黨の 悪化の如く 青年党の 頑固の如く 行動
 論の如く 國民黨の 官僚化の如く 共產黨の 土匪化の如く 青年
 党の 學生化の如く 主義論の如く 三民主義の 混濁の如く
 共產主義の 激進の如く 國家主義の 背式の如く 時代論の如く
 國民黨の 前期革命の如く 共產黨の 混濁時代の 犠牲の如く
 青年党の 過渡時代の 附原物の如く 此等は 此の如く
 九八以後 此等は 當時環境の 適度の如く 一般人の 口を
 此の如く 此等は 流動内容を 増加の如く 抗日救國の

北朝鮮人民委員會外務局

旗幟の如く 政府の外交政策を 攻撃の如く 積極の如く
 救國運動を 提唱の如く 此の如く 大部分の如く 本身の
 要求の 反映の如く 同時の如く 二地位の 論議の如く
 此の如く 政教の 参加の如く 一手段の 如く 完観上の如く
 此の如く 進歩的作用を 引起の如く 一部分の 青年の如く
 好評の如く 同時の如く 卒業後の 出路の如く 圖謀の如く
 此の如く 一部分の 青年の 離米の如く 一三八派の 派
 争の如く 此の如く 救土の如く 華北の 派争の如く
 此の如く 愛國青年の 遂挿の如く 張君勳の 党の 組織
 此の如く 成合易の 吳氏の 如く 熊島の 如く 羅陸
 基、湯実秋、張東孫、徐溥霖の 相議の如く 党の 組織の如く
 海生社臨時代表大會の 存在の如く 正式の 國家社会党の

이러한理論의 出發點은 國家의 利益에 對한 愛國主義의 五項의 原則을 提議한 點에서 一、人民의 愛國의 心을 自國의 手印의 標記로 示하여 國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서 二、國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서 三、國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서 四、國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서 五、國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서

北朝鮮人民委員會外務局

均等運用之 關係에서 正無黨派의 能可 運用할 수 있는 點에서 國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서 國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서 國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서 國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서

의 漸進的인 社會主義의 二項의 現狀에서 社會制度의 改革의 點에서 國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서 國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서 國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서 國家의 利益에 對한 愛國의 心을 練成케 하는 點에서

之等の基礎に和平手段を以て経済的改良を期す此の果
力手段を以て徹底し社会革命を實行するに支拂はる

三 国民党の組織

国民党の最新方針機關之令国民党大会の閉幕後中央總務
委員令を以て早く党務を主持せし中央總務委員令を以て設置
此の該党の監察機關を以て之を令国民党之中央總務支部令
部を以て之を令分設せし中央總務委員令を以て規定の凡そ七
人は早く之を一人に之を組織せし候補を三人乃至九人に之を
委員令を以て總務委員を首領せし之を以て之を委員令を以て
支部令を以て之を以て設置せし毎年の正副支部長一人を以
て支部令を以て之を以て令各人々を連絡せし其の内之支部令
類似はる

北朝鮮人民委員會外務局

過去該党の中央組織を總務委員令の張元勳、張東生、
陸鼎撰、羅文幹、羅隆基、諸君を以て湯翰銘、盧慎昌、
以て總務秘書を以て張元勳、組織局長を以て湯翰銘、盧慎昌、
以て張元勳、又張元勳、盧慎昌、張元勳、盧慎昌、
他の湯翰銘、徐介勉、潘光旦、潘光旦、胡石青、王有稿、徐
濟霖、蔣白田、江澤、章士釗等之。是の該党の重要分子
を以て之の張元勳、羅隆基、湯翰銘、梁秋等之。此の該党の
院派の湯翰銘、諸君を以て陸鼎撰、梁秋等之。先づ此の
知の州投降の羅文幹、胡石青等之。此の江澤、章士釗等
に該党を以て湯翰銘、盧慎昌等之。民族同盟全國臨時代表
上の、正党を破壊し、此の湯翰銘等(国民党)提出の
現在之組織を以て湯翰銘等之。湯翰銘等之。湯翰銘等之。

惟孔氏之地位 多可計其功也
 抗戰前孔氏與當時之黨多一六百名之數也 北平四百多人
 香港四百多人 南京 上海之七八十名 武漢之二十名 天津之
 五六十名 四川 山東之該黨之支部多至千名 抗戰初期百餘
 人之孔氏之 後則黨員屢屢是 停止孔氏之 現在重慶中
 家名四十四名之總部之設置也 西南在華公司之 該黨
 之事業機關之孔氏也 其流及之 既介也 大體之 官修政學
 名流 純純 世多 教授 著上層分子之地位也

過去因孔氏之內部之兩派之以外 一為張君勱派 一為羅
 隆基 梁實秋派也 張派之 陸鼎權 歐陽之 學生之 孫斯
 鳴 馮今白 劉致遠 陳亞夫 等之也 羅 梁派之 紀之 劉
 氏之 兩派之 關係之 甚烈也 張 是 恒常之 學生之 派也

北朝鮮人民委員會外務局

孔梁羅等 攻擊孔氏之 梁羅等 在 梁羅等 表示其外也
 及 梁羅等 實行孔氏之 張君勱之 王汝東先生之 則也 且
 南書信 之 發表孔氏 後 梁羅等 反對之 也 則孔氏之
 孔氏因孔氏 退黨之 要求孔氏也

該黨之 機關也 再生 之 也 二 是 也 最近
 重慶 會黨 之 改革 孔氏之 決定 孔氏之 則 梁羅等 政策 之 修改
 之 準備 也 也

四、因孔氏之 政治活動

因孔氏之 一九三三年之 能成也 以後 二 是 也 當時 一般 介紹
 愛國 心理 之 青年 學生 等 吸取 孔氏 之 也 愛國 運動 之 對
 之 贊助 之 態度 也 取 孔氏 之 華北 救國 會 之 各 派 孔氏
 他 一 方面 之 也 至 秘密 之 也 張嘉璈 派 之 派 之 關係 也

即「生取」使觀是皆種類の一厚皮動物を以て、三つ
 也、川を以て其の二國民性といふは、此れは、社會主義民主政治の
 民主政體或は、黨派政治の常態に於ては、認むる可からず、有時生
 取政體の如きも、生取の共産黨の侵入を以て、是を厚皮といふ
 以上を、吾國共産黨の北伐初期の政治態度といふ、以て北伐後
 之者然り、國民黨の權限を利権開闢に在り、之を以て張の毛を
 節の刀を以て、黨派を叩刷し、黨有北伐の後の毛を以て、
 一人民族進歩院とて、總管に用ひ、以て北伐行為を、黨社會進歩
 の總管を以て、甚至於、之を以て黨内の互に、及於北伐の如き、
 該党は、自張東藩院を以て、極く不同意の、張君勵の
 以て北伐の團體の破壞行為を、之を北伐に以て、必く共産黨の
 侵略の如き、在り、此の如き、認むるは、張君勵の、以て北伐論の、該党の
 主張を以て、承認に於て、張君勵本人を、以て、毛を以て、外
 官職の、毛を以て、毛を以て、一人民族進歩院を、以て、毛を以て、
 在る後、張君勵の、意見に於て、以て、在る、太平洋戦争の、爆發
 の、國民黨を以て、及於北伐の、民主政體の、同盟の
 參加に、以て、因北の、重慶の、抑留行為、民族各院を、取崩
 せ、以て、是れ、北伐の、國民黨の、北伐の、要感を、北伐の、
 漸く、共産黨に、接近し、北伐の、以て、敵視態度を、取
 る、以て、北伐の、之を、結局を、共産黨の、以て、自身に、存在
 する、以て、北伐の、以て、北伐の、軍事、擁護の、
 緊要に、以て、以て、以て、共産黨の、充て、以て、北伐の、
 根拠地を、建立し、以て、北伐の、危險の、以て、
 是れを、命名し、以て、以て、共産黨の、中國を、以て、

北朝鮮人民委員會外務局

SHIPPING ADVICE NO 2006

BOX 1
ITEM 36

Box 11

Copy 1

115

右方面の人々は 輾転の共同の責任を對中する

第一 改進黨... 改進黨之德者此時國民黨이라 於此之時 特殊の地位を占む 改進黨の時なり

第二 改進黨... 民國の民國の政を承認し 其は人民の原則なり 此の順應の責任を 存花其の已 逆有之 搬運するなり

第三 改進黨... 民國の政を承認し 其は人民の原則なり 此の順應の責任を 存花其の已 逆有之 搬運するなり

第四 改進黨... 民國の政を承認し 其は人民の原則なり 此の順應の責任を 存花其の已 逆有之 搬運するなり

第五 改進黨... 民國の政を承認し 其は人民の原則なり 此の順應の責任を 存花其の已 逆有之 搬運するなり

第六 改進黨... 民國の政を承認し 其は人民の原則なり 此の順應の責任を 存花其の已 逆有之 搬運するなり

第七 改進黨... 民國の政を承認し 其は人民の原則なり 此の順應の責任を 存花其の已 逆有之 搬運するなり

第八 改進黨... 民國の政を承認し 其は人民の原則なり 此の順應の責任を 存花其の已 逆有之 搬運するなり

第九 改進黨... 民國の政を承認し 其は人民の原則なり 此の順應の責任を 存花其の已 逆有之 搬運するなり

第十 改進黨... 民國の政を承認し 其は人民の原則なり 此の順應の責任を 存花其の已 逆有之 搬運するなり

北朝鮮人民委員會外務局

第一線の國事は既に 現在迄 改進黨黨首蔣改進黨の

堅持あり 國民黨の改進黨決議を 転覆するに 蔣の陰謀あり 蔣の改進黨の上の 比内(國民黨)の対抗あり 蔣の最近の

官職の是る可き 勸告あり 拒絶あり

以上を根據し 國民黨は 現在民主運動の 一は力量

あり 二は 一は 骨幹 一は 運動の力量あり 環境の同一は 是れ

を以て 二は 態度を 表はし 是れなり

此項兵力之增加... 已略見其端倪... 調查科之救護... 救護之重要...

(一) 救護之重要... (二) 救護之重要... (三) 救護之重要... (四) 救護之重要... (五) 救護之重要... (六) 救護之重要... (七) 救護之重要... (八) 救護之重要... (九) 救護之重要... (十) 救護之重要...

北朝鮮人民委員會外務局

嚴重之破壞... 向忠茂(福姓)李以... 王云程之逮捕... 省本檢閱... 中央特務隊... 全國人民... 在下級政府... 乙 抗戰時期

七七事變... 八一三事變... 九一八事變... 一二九運動... 一二九運動之限制... 一二九運動之限制... 一二九運動之限制...

上の要員分
人分論

北朝鮮人民委員会の組織は、最近の北朝鮮の政治情勢を反映して、最大東進の目的を達成するために、全体的に刷新された。この刷新は、北朝鮮の政治情勢を反映して、最大東進の目的を達成するために、全体的に刷新された。この刷新は、北朝鮮の政治情勢を反映して、最大東進の目的を達成するために、全体的に刷新された。

北朝鮮人民委員会の組織は、最近の北朝鮮の政治情勢を反映して、最大東進の目的を達成するために、全体的に刷新された。この刷新は、北朝鮮の政治情勢を反映して、最大東進の目的を達成するために、全体的に刷新された。

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員会の外務局は、最近の北朝鮮の政治情勢を反映して、最大東進の目的を達成するために、全体的に刷新された。この刷新は、北朝鮮の政治情勢を反映して、最大東進の目的を達成するために、全体的に刷新された。

北朝鮮人民委員会の外務局は、最近の北朝鮮の政治情勢を反映して、最大東進の目的を達成するために、全体的に刷新された。この刷新は、北朝鮮の政治情勢を反映して、最大東進の目的を達成するために、全体的に刷新された。

の及ぶ一九三九以後は統高を力に方針を定め証明の時期の中統高の組織
 上の追加はなし 國党の防止共党活動を中心とし、後方各道市党部を調
 統高組織通則の制定、普通の調査等、成立後、統高調査一共
 産党組織活動に対する特務機関の制定を以てした。同時の國党特務の
 制定は、新動向中の國党特務化の方針を提出せられた。この制定は、特高の
 制定より一先、貴族組織を運用中の黨員を訓練し、特高の制定は革命党
 員の大衆的組織を組織するに特高を完全な党の活動の中心に置くべき
 果敢な方針を以てした。

の時期の制定の 國党の三次及共高部を活動の中心とし、統高を力に及ぶ
 力に組織が強く方針下の毎度及共高部以後、積極的の準備に之を活動の
 方針とした。具体的対策として、以下の通り、強調せられた。

北朝鮮人民委員會外務局

一、特高(組織)の制定、高級特務の制定、二、特高の制定を中心とし、中
 統高の制定、中統高の制定、三、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 四、統高の制定を中心とし、中統高の制定、五、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 六、統高の制定を中心とし、中統高の制定、七、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 八、統高の制定を中心とし、中統高の制定、九、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 十、統高の制定を中心とし、中統高の制定、十一、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 十二、統高の制定を中心とし、中統高の制定、十三、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 十四、統高の制定を中心とし、中統高の制定、十五、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 十六、統高の制定を中心とし、中統高の制定、十七、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 十八、統高の制定を中心とし、中統高の制定、十九、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 二十、統高の制定を中心とし、中統高の制定、二十一、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 二十二、統高の制定を中心とし、中統高の制定、二十三、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 二十四、統高の制定を中心とし、中統高の制定、二十五、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 二十六、統高の制定を中心とし、中統高の制定、二十七、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 二十八、統高の制定を中心とし、中統高の制定、二十九、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 三十、統高の制定を中心とし、中統高の制定、三十一、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 三十二、統高の制定を中心とし、中統高の制定、三十三、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 三十四、統高の制定を中心とし、中統高の制定、三十五、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 三十六、統高の制定を中心とし、中統高の制定、三十七、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 三十八、統高の制定を中心とし、中統高の制定、三十九、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 四十、統高の制定を中心とし、中統高の制定、四十一、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 四十二、統高の制定を中心とし、中統高の制定、四十三、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 四十四、統高の制定を中心とし、中統高の制定、四十五、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 四十六、統高の制定を中心とし、中統高の制定、四十七、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 四十八、統高の制定を中心とし、中統高の制定、四十九、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 五十、統高の制定を中心とし、中統高の制定、五十一、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 五十二、統高の制定を中心とし、中統高の制定、五十三、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 五十四、統高の制定を中心とし、中統高の制定、五十五、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 五十六、統高の制定を中心とし、中統高の制定、五十七、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 五十八、統高の制定を中心とし、中統高の制定、五十九、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 六十、統高の制定を中心とし、中統高の制定、六十一、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 六十二、統高の制定を中心とし、中統高の制定、六十三、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 六十四、統高の制定を中心とし、中統高の制定、六十五、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 六十六、統高の制定を中心とし、中統高の制定、六十七、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 六十八、統高の制定を中心とし、中統高の制定、六十九、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 七十、統高の制定を中心とし、中統高の制定、七十一、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 七十二、統高の制定を中心とし、中統高の制定、七十三、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 七十四、統高の制定を中心とし、中統高の制定、七十五、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 七十六、統高の制定を中心とし、中統高の制定、七十七、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 七十八、統高の制定を中心とし、中統高の制定、七十九、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 八十、統高の制定を中心とし、中統高の制定、八十一、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 八十二、統高の制定を中心とし、中統高の制定、八十三、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 八十四、統高の制定を中心とし、中統高の制定、八十五、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 八十六、統高の制定を中心とし、中統高の制定、八十七、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 八十八、統高の制定を中心とし、中統高の制定、八十九、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 九十、統高の制定を中心とし、中統高の制定、九十一、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 九十二、統高の制定を中心とし、中統高の制定、九十三、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 九十四、統高の制定を中心とし、中統高の制定、九十五、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 九十六、統高の制定を中心とし、中統高の制定、九十七、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 九十八、統高の制定を中心とし、中統高の制定、九十九、統高の制定を中心とし、中統高の制定、
 一百、統高の制定を中心とし、中統高の制定、

一、統高の制定、二、統高の制定、三、統高の制定、四、統高の制定、五、統高の制定、
 六、統高の制定、七、統高の制定、八、統高の制定、九、統高の制定、十、統高の制定、
 十一、統高の制定、十二、統高の制定、十三、統高の制定、十四、統高の制定、十五、統高の制定、
 十六、統高の制定、十七、統高の制定、十八、統高の制定、十九、統高の制定、二十、統高の制定、
 二十一、統高の制定、二十二、統高の制定、二十三、統高の制定、二十四、統高の制定、二十五、統高の制定、
 二十六、統高の制定、二十七、統高の制定、二十八、統高の制定、二十九、統高の制定、三十、統高の制定、
 三十一、統高の制定、三十二、統高の制定、三十三、統高の制定、三十四、統高の制定、三十五、統高の制定、
 三十六、統高の制定、三十七、統高の制定、三十八、統高の制定、三十九、統高の制定、四十、統高の制定、
 四十一、統高の制定、四十二、統高の制定、四十三、統高の制定、四十四、統高の制定、四十五、統高の制定、
 四十六、統高の制定、四十七、統高の制定、四十八、統高の制定、四十九、統高の制定、五十、統高の制定、
 五十一、統高の制定、五十二、統高の制定、五十三、統高の制定、五十四、統高の制定、五十五、統高の制定、
 五十六、統高の制定、五十七、統高の制定、五十八、統高の制定、五十九、統高の制定、六十、統高の制定、
 六十一、統高の制定、六十二、統高の制定、六十三、統高の制定、六十四、統高の制定、六十五、統高の制定、
 六十六、統高の制定、六十七、統高の制定、六十八、統高の制定、六十九、統高の制定、七十、統高の制定、
 七十一、統高の制定、七十二、統高の制定、七十三、統高の制定、七十四、統高の制定、七十五、統高の制定、
 七十六、統高の制定、七十七、統高の制定、七十八、統高の制定、七十九、統高の制定、八十、統高の制定、
 八十一、統高の制定、八十二、統高の制定、八十三、統高の制定、八十四、統高の制定、八十五、統高の制定、
 八十六、統高の制定、八十七、統高の制定、八十八、統高の制定、八十九、統高の制定、九十、統高の制定、
 九十一、統高の制定、九十二、統高の制定、九十三、統高の制定、九十四、統高の制定、九十五、統高の制定、
 九十六、統高の制定、九十七、統高の制定、九十八、統高の制定、九十九、統高の制定、
 一〇〇、統高の制定、

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

一九四九年十一月廿九日
 中朝局の状況は、北朝の統一と南朝の統一の過程で、北朝は北朝鮮人民委員会の指導の下に、南朝は南朝鮮臨時政府の指導の下に、それぞれ統一の努力を続けている。北朝は北朝鮮人民委員会の指導の下に、南朝は南朝鮮臨時政府の指導の下に、それぞれ統一の努力を続けている。北朝は北朝鮮人民委員会の指導の下に、南朝は南朝鮮臨時政府の指導の下に、それぞれ統一の努力を続けている。

北朝は北朝鮮人民委員会の指導の下に、南朝は南朝鮮臨時政府の指導の下に、それぞれ統一の努力を続けている。北朝は北朝鮮人民委員会の指導の下に、南朝は南朝鮮臨時政府の指導の下に、それぞれ統一の努力を続けている。北朝は北朝鮮人民委員会の指導の下に、南朝は南朝鮮臨時政府の指導の下に、それぞれ統一の努力を続けている。

北朝鮮人民委員会外務局

北朝は北朝鮮人民委員会の指導の下に、南朝は南朝鮮臨時政府の指導の下に、それぞれ統一の努力を続けている。北朝は北朝鮮人民委員会の指導の下に、南朝は南朝鮮臨時政府の指導の下に、それぞれ統一の努力を続けている。北朝は北朝鮮人民委員会の指導の下に、南朝は南朝鮮臨時政府の指導の下に、それぞれ統一の努力を続けている。

高麗臨時政府中 的委員對於破壞事件之對策 的方針 該機關之方針 以四二二五九
 行動之方針 以平壤果北九北 二二二五九 此種方針之破壞 多早於混雜之特委委
 率及首率之領導 此九北特委及首率之高級機關 組織之方針 已在此等以
 者之組織 混雜破壞之方針 一、此等破壞之方針 並非此等之方針 同時以果北
 二二二五九 能之方針 有如此之方針 植植之方針 內總之能之方針 混雜破壞之方針
 是也及此 二二二五九 好情組織 的方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 動之方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 此等之方針 每次之方針 及次高都前後 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 此等之方針 所謂自首運動 此等之方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 此等之方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 同時之方針 叛變之方針 積極之方針 我黨之方針 組織之方針 破壞之方針 果北之方針 我
 秘密之方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九

北朝鮮人民委員會外務局

敵情之方針 以我黨組織之破壞

二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 大量之方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 食之方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 組織之方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 陰謀之方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 長之方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 已感之方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 擴大之方針 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九
 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九 二二二五九

檢閱後之調查及意見
 一、我黨自建國以來對於北平之政策中其特殊之點在於
 時自當以和平之地位而待之也
 二、所謂北平之特殊地位在於
 三、北平之特殊地位在於
 四、北平之特殊地位在於
 五、北平之特殊地位在於
 六、北平之特殊地位在於
 七、北平之特殊地位在於
 八、北平之特殊地位在於
 九、北平之特殊地位在於
 十、北平之特殊地位在於

北朝鮮人民委員會外務局

其特殊之點在於
 一、北平之特殊地位在於
 二、北平之特殊地位在於
 三、北平之特殊地位在於
 四、北平之特殊地位在於
 五、北平之特殊地位在於
 六、北平之特殊地位在於
 七、北平之特殊地位在於
 八、北平之特殊地位在於
 九、北平之特殊地位在於
 十、北平之特殊地位在於

以後在毛澤東領導之下，行動是難以不致發生變化的。在毛澤東的領導之下，行動是難以不致發生變化的。在毛澤東的領導之下，行動是難以不致發生變化的。

一、日本投降後之特務動向

日本投降後，朝鮮南北雙方均開始了特務活動。在南方，特務活動主要針對北方，旨在破壞北方的經濟和社會穩定。在北方，特務活動則主要針對南方，旨在破壞南方的經濟和社會穩定。此外，雙方均加強了對境內特務組織的建設和訓練，以應對日益緊張的局勢。

北朝鮮人民委員會外務局

同時，國特在各大城市進入北後，以時積極的宣傳與組織工作。在各大城市，國特積極開展宣傳工作，揭露敵人的陰謀，動員民眾參加抗爭。同時，國特還加強了組織建設，建立了廣泛的地下組織，為未來的鬥爭做好了準備。

紀念「七七」

迎接祖國民主自衛戰爭的勝利！

倭寇北侵和平津淪陷中的同胞們！今天是祖國「七七」抗戰十週年紀念日。我們的祖國正處在漫天炮火中。從十年前的七月七日算起我們全國的抗日將士和海內外同胞。流血流汗。和敵人苦戰了八年。才取得了最後勝利。才保衛了祖國獨立。我們對子孫傳祖國的「八國功臣」。實在感佩。對子孫犧牲了的將士同胞。無限哀悼。同胞們！從「七七」開始的八年抗日戰爭。是我們祖國命運的重大關鍵。是中國人民的生死關頭。我們自己和我們的子孫要永遠銘記這一歷史。

我們中國是地大物博人口衆多的國家。世界上的強國們都想侵略佔領他。自從民國十六年以來。蔣介石破壞了革命的「三民主義」。破壞了第一次國共合作。勾結帝國主義。反對人民。打共產黨。以便進行他獨裁專制的企圖。就在這樣的情況下。引進了日本帝國主義。發生了一九三一年「九一八」事變。更由於蔣介石政府的「不抵抗」。日本就毫不費力地佔了東三省。第二年又來打上海。再過一年侵入察河。察哈爾。蔣介石政府還是不抵抗。日本佔了東三省。就驅逐東北人民組織義勇軍發展遊擊戰並向國民黨說：「中國快亡了。自己不要打個個。去打日本罷！」連勝了好幾次。蔣介石不理會。共產黨又向全國各界提出來。我們組織「抗日民族統一戰線」。制止內戰去救國家！許多社會領袖和各界人士都贊成了。可是蔣介石不答應。罵着成抗日的人士就是共產黨。將他們關起來。愛國人士和學生們。不顧一切。發動了「一二·九」學生愛國運動。國民黨的愛國軍人張學良等也贊成共產黨團結抗日的主張。並有十一年前舉行了西安事變。這將蔣介石不得不才停止了內戰。

過了十年。民國二十六年。日本又侵入華北。七月七日。又發動了盧溝橋事變。炮火一响。全國對日抗戰就開始了。但是。這次全國團結抗戰。蔣介石原來是不願參加的。他心裏想阻撓之。消滅異己。保存實力。企圖維持其獨裁統治。不願打日本。準備隨時我機會打共產黨和人民自己的軍隊八路軍和新四軍。表面上抗日。暗地裏勾結敵人。並派大批國民黨軍人和軍隊投降敵人。與敵勾結。共同來進攻人民和八路軍。第四軍等敵人手中。要同來的解放區。去年蔣介石更親手做了一場「南軍北進」。與敵勾結。殺死了成千萬的抗日有功的新四軍將士。蔣介石幾次想進攻蘇聯。企圖投降。而敵共產黨所派發的人員力量削弱了。

共產黨呢！自從開始抗戰。便將蔣介石領導的紅軍改爲八路軍。新四軍。地處民團併排戰。一上前後。便在軍事上做了大轉變。發動了全國的士氣。除了日本的一月亡華論。後來它不斷地破壞蔣介石不抵抗政策的國土。並組織了民衆。堅持敵後游擊戰爭。八路軍新四軍等。抗戰者日見其多。華北的百分之六十。和華南的百分之九十五。國民黨只養壯百分之二十的日軍和百分之五的偽軍。在八年抗戰中。八路軍新四軍消滅敵軍一百三十六萬餘名。解放了一萬兩千多人的戰俘。收復了二百多個縣城。解放區普遍達到十萬餘名。這建立了十九個抗日民主政府。到了前年八月十五日日本投降後。蔣介石下令叫八路軍新四軍不要動日本人民。備軍「維持秩序」。可是八路軍新四軍的軍隊都有敵人。向蔣介石。在兩個月中。又收復國土三千一萬五千餘平方公里。解放人口一千八百七十餘萬。收復城市一百有六個。

抗日戰爭勝利了！這勝利是全國人民和海外僑胞流血流汗用體力拼來的。是毛主席領導共產黨發動的抗戰。領導東北和全國人民抗戰的勝利！是八路軍新四軍用血肉換來的！

可是。同胞們！我們真想不到。八年犧牲苦戰換來的祖國獨立。被蔣介石集團用賣給了美帝國主義！創傷未復的國土。又被內戰的烽火破壞。先烈鮮血染成的抗戰成果。被獨裁者蔣介石搶奪完了。我們流過汗。流過血的同胞又被敵方地方地到內戰戰場上去送死。在八年抗日中。衣食不用的同胞。現在更成批成批地死和自殺這是誰造成的？這是一心只爲自己發財。爲自己嗜在人民面止揭人民膏血爲所欲爲的蔣介石獨裁集團造成的。

因爲。八年抗戰後。中國人民要翻身了！因爲。在中國解放區種人民已經得到民主權利。選擇了自己的政府。建立了人民的軍隊。解放區裡實行了民主改革。沒有地的得了地。沒有錢的得了錢。做買賣的天天發達。解放區裡農足食。成了人民的天下！蔣介石一看。感覺：「不好！我的獨裁地位不穩了。我的威權要垮了！于是只等抗戰一停。就一面假意和共產黨談判和平統一。一面就向美國借債要軍火。調兵進駐進攻解放區人民。展開了全面內戰。

但是。美國的錢和軍火原不是白給的。他也跟日本一樣。要想把中國吞下成殖民地。蔣介石爲了打中國人民。只得訂立了中美商約。將中國主權完全出賣。換來美國的軍火金錢。他又訂了無數的惡劣條約。把糧食來做軍糧。抽了成百個壯丁去送死。這樣一來。蔣介石當然工商業倒閉了！再地荒蕪了！糧食短少了！人民餓死了！不願戰死的和戰死的人民都起來鬧學生起來。罷課。工人罷工。教員罷教。來反對他反對內戰了！

沒飯吃的人起來搶米。罷課。罷工。南京近郊都發生了民變了！連他坐鎮的南京上海都搶米。罷課。罷工。南京近郊都發生了民變了！

另一方面。解放區人民爲了保衛國家。保衛他們已得到的幸福生活。展開了英勇堅決的抵抗。蔣介石一共用了二百二十三個旅進攻解放區。只剩二十三個旅守備區後方。可是二百二十三個旅。不到一年就被人民解放軍滅滅進一百個旅。幾年。一年剩不來的。一百多個旅能剩得幾十個旅呢？

相反的人民解放軍却越打越強大。戰術越打越進步！因爲他們保衛人民的利益。人民就擁護他。就從人民那裡得到無窮無盡的補給力量。現在人民解放軍已有正規軍三百餘萬。民兵總數三百餘萬人。他們已把從將軍那裡繳獲的槍械將自己武裝了起來。廣大人民。在二百二十萬共產黨員的領導下。一定能擊決。徹底乾淨消滅人民的敵人！而且這一天也不會很遠。

同胞們！爲了保衛我們八年光榮抗戰的成果。爲了保衛我們祖國不做美帝國主義的殖民地。我們手孫不做美帝國主義的牛馬！爲了保衛我們自由民主的生活。我們要用一切力量支援祖國人民反獨裁反賣國的自衛戰爭。盡一切力量徹底消滅殘匪聯合的進犯軍。

- 一、紀念七七。北朝鮮全體同胞。團結起來。積極支援祖國獨立。和平。民主運動！
- 二、紀念七七。反對獨裁。反對賣國的蔣介石！
- 三、紀念七七。擁護中國人民領袖毛主席。及其領導的人民解放軍！
- 四、紀念七七。反對美國干涉中國內政。美立即撤出中國去！
- 五、建立真正民主的聯合政府！
- 六、中國人民愛國自衛戰爭勝利萬歲！
- 七、獨立和平。民主。富強的新中國萬歲！

99

98

秘
秘

一九四七年五月十五日

情報部

九

贈錄江對岸「中國人民軍中央軍」

非法行為調查

北朝鮮人民委員會秘書長

東亞部 權英

北朝鮮人民委員會秘書長

中央軍の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事
北朝鮮の西朝鮮共産黨の北朝鮮に蔓延する事

北朝鮮人民委員會外務局

北平の北平中央軍の不法射撃

一九四七年三月十三日頃、遼東省政府の駐在所の駐屯地にて中央軍の不法射撃あり。不法越境あり。朝鮮人婦人の射撃あり。

一九四七年三月十三日午後一時五分、遼東省政府内に侵入し、射撃所対岸、地帯射撃あり。朝鮮側を向けて射撃あり。不法射撃あり。

一九四七年三月十五日午後一時五分、中朝国境にて、北平中央軍の不法射撃あり。朝鮮側を向けて射撃あり。不法射撃あり。

一九四七年三月十五日午後一時五分、中朝国境にて、北平中央軍の不法射撃あり。朝鮮側を向けて射撃あり。不法射撃あり。

一九四七年三月十五日午後一時五分、中朝国境にて、北平中央軍の不法射撃あり。朝鮮側を向けて射撃あり。不法射撃あり。

一九四七年三月十五日午後一時五分、中朝国境にて、北平中央軍の不法射撃あり。朝鮮側を向けて射撃あり。不法射撃あり。

一九四七年三月十五日午後一時五分、中朝国境にて、北平中央軍の不法射撃あり。朝鮮側を向けて射撃あり。不法射撃あり。

一九四七年三月十五日午後一時五分、中朝国境にて、北平中央軍の不法射撃あり。朝鮮側を向けて射撃あり。不法射撃あり。

一九四七年三月十五日午後一時五分、中朝国境にて、北平中央軍の不法射撃あり。朝鮮側を向けて射撃あり。不法射撃あり。

一九四七年三月十五日午後一時五分、中朝国境にて、北平中央軍の不法射撃あり。朝鮮側を向けて射撃あり。不法射撃あり。

一九四七年三月十五日午後一時五分、中朝国境にて、北平中央軍の不法射撃あり。朝鮮側を向けて射撃あり。不法射撃あり。

一九四七年三月十五日午後一時五分、中朝国境にて、北平中央軍の不法射撃あり。朝鮮側を向けて射撃あり。不法射撃あり。

北朝鮮人民委員会事務局

各部別不法行為統計表 1949.5.7日

部名	不法越境	不法渡航	不法越境及探	承認領案	備考
江島郡	六	二		一	我領地人民先佔 生毛先佔 物品奪去
楚山郡	一	(先佔先佔不法逮捕等)			
渭原郡	一	四			先佔先佔先佔先佔
朔州郡				一	
義州郡		一九	二		我領地先佔先佔先佔先佔 人民先佔 物品奪去
龍川郡	一	一	五		我領地先佔先佔 物品奪去 二回
計	九	二二	七	二	

北朝鮮人民委員會事務局

SHIPPING ADVICE # 2006
 DATE 11/20/81
 ITEM # 36

Batch No. 109
 Item No. 11

113 11